2019年9月30日発行

KGA GOLFER'S NEWS

NO.131
2019秋号

一般社団法人
関東ゴルフ連盟

別冊付録 保存版
2019年 関東倶楽部対抗
2019年 関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部 競技成績

関東
倶楽部対抗
優勝
東千葉
カントリークラブ

関東倶楽部対抗特集号

関東女子
倶楽部対抗
優勝
東千葉
カントリークラブ

巻頭言

関東倶楽部対抗に41年出場して

関東倶楽部対抗は、歴史・伝統や参加倶楽部数・出場選手数などで、世界最大のアマチュアゴルフの団体競技と評価されます。

団体戦ですから個人がスター扱いされることはありませんが〝倶楽部対抗の鉄人〟と呼びたい、まさにギネスブック級の記録ホルダーが、実はすぐそばにいます。KGA事務局長の嶋田憲人さんです。

嶋田さんは所属する青梅ゴルフ倶楽部の代表選手として、41年も倶楽部対抗予選・決勝競技に出場しています。一人ではできない記録で、チームの快挙と言えるでしょう。

嶋田事務局長に、関東倶楽部対抗で優勝を競う強いチームの、実力を分析してもらいました。（以下、嶋田さんにインタビュー）

●私の半生はゴルフと切っても切り離せません。日大ゴルフ部の4年生の時は、キャプテンとして学生競技に邁進しました。卒業後はゴルフ用品メーカーに入社して、定年までゴルフ用品部門に勤務しました。

所属する青梅GCでは関東倶楽部対抗の代表選手に選ばれること、実に44年でした。途中、自己都合で3回欠席したものの、41年もチームとともに予選・決勝競技に出場させていただきました。

関東ゴルフ連盟では競技・月例・ジュニア委員をお引き受けし、今年からは事務局長を仰せつかっています。

●団体戦には、個人戦にはない傾向があります。大学対抗戦なら調子のいい選手を見抜いて選抜し、チームで団結して競技に挑むのが最大の作戦です。他のスポーツの団体戦でも、相撲や柔道は「大将」、野球は「エース」の頑張りにかかってきます。

関東倶楽部対抗でも予選競技での『ベストスコア賞』や、決勝大会での『最優秀選手賞』を獲れる選手が所属する倶楽部は断然有利です。ただし、この見方は私の長年の経験によるものです。今後、エース不在のチームでも、選手全員のスキルアップで優勝が大いに期待できるでしょう。

選手起用やスタート順は、監督やキャプテンが悩み抜いて決めるのが常です。1日競技ですから、直近の練習ラウンドぐらいしかデータがないので、勘や経験に頼らざるを得ません。

結果から分析すれば、強いチームの試合運びには共通した傾向があります。まず強豪倶楽部の有力選手たちは、バック9でスコアを伸ばしてくるようです。意識的にギアチェンジしてくるのかもしれません。また競技の行方を左右しかねない最終ホールでも、代表選手たちの見事なパフォーマンスを私は何度も見ています。

関東倶楽部対抗と関東女子倶楽部対抗は、オリンピックと同じ精神の上に成り立つ〝全ゴルファーの祭典〟なのです。

関東倶楽部対抗・三強倶楽部のエース選手たち

東千葉カントリークラブ
❶豊島 豊 1977年生まれ
❷庄司 由 1987年生まれ
❸室野 歩 1957年生まれ
❹上重 修 1946年生まれ

袖ヶ浦カンツリークラブ
❺和田 博 1962年生まれ
❻水上晃男 1967年生まれ
❼柳澤信吾 1965年生まれ
❽阪田哲男 1949年生まれ

富士カントリー笠間倶楽部
❾吹野耕一 1966年生まれ
❿中野正義 1964年生まれ

富士カントリー笠間の代表戦手6名の成績は73・74・74・79・79・80と、安定度は抜群でした。

撮影・塚越克一KGA広報副委員長

KGA GOLFER'S NEWS
NO.131
2019年9月30日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

CONTENTS
関東倶楽部対抗特集号

1 関東倶楽部対抗に41年出場して

決勝競技
2 関東倶楽部対抗（相模原ゴルフクラブ 東・西コース 神奈川県）

予選競技
6 新潟第1会場（中条ゴルフ倶楽部）
8 新潟第2会場（新潟ゴルフ倶楽部）
10 長野会場（諏訪レイクヒルカントリークラブ アウト・インコース）
12 山梨会場（富士レイクサイドカントリー倶楽部）
14 群馬第1会場（太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所入コース）
16 群馬第2会場（関越ハイランドゴルフクラブ サザンカ・ケヤキコース）
18 栃木第1会場（皐月ゴルフ倶楽部鹿沼コース 東・北コース）
20 栃木第2会場（唐沢ゴルフ倶楽部三好コース）
22 栃木第3会場（大日向カントリー倶楽部 西・東コース）
24 茨城第1会場（大利根カントリークラブ 西コース）
26 茨城第2会場（取手国際ゴルフクラブ 東コース）
28 茨城第3会場（筑波カントリークラブ）
30 埼玉第1会場（狭山ゴルフ・クラブ 西・東コース）
32 埼玉第2会場（岡部チサンカントリークラブ 美里コース）
34 千葉第1会場（新千葉カントリー倶楽部 あさぎりコース）
36 千葉第2会場（京葉カントリー倶楽部）
38 千葉第3会場（姉ヶ崎カントリー倶楽部 東コース）
40 千葉第4会場（紫カントリークラブすみれコース）
42 東京会場（相武カントリー倶楽部）
44 神奈川会場（横浜カントリークラブ 西コース）
46 静岡会場（東名カントリークラブ 愛鷹・桃園コース）

決勝競技
50 関東女子倶楽部対抗（メイプルポイントゴルフクラブ 山梨県）

予選競技
54 新潟会場（米山水源カントリークラブ）
56 長野会場（塩嶺カントリークラブ しらかば・りんどうコース）
58 山梨会場（春日居ゴルフ倶楽部）
60 群馬会場（グリーンパークカントリークラブ 東・西コース）
62 栃木会場（那須ゴルフ倶楽部）
64 茨城会場（ゴルフ5カントリーサニーフィールド）
66 埼玉会場（武蔵松山カントリークラブ）
68 千葉第1会場（千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース）
70 千葉第2会場（千葉カントリークラブ梅郷コース）
72 東京会場（立川国際カントリー倶楽部 草花コース）
74 神奈川会場（神奈川カントリークラブ 東・南コース）
76 静岡会場（東名カントリークラブ 裾野・桃園コース）

48 女子決勝 フェアウェイ・コレクション
78 ギャラリー
80 from KGA

保存版 別冊付録
2019年関東倶楽部対抗
2019年関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部 競技成績

編集／関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／吉田裕明（KGA広報委員長）
取材／塚越克一（KGA広報副委員長）
大竹 茂（KGA広報委員）
久保田昌幸（KGA広報委員）
鈴木一也（KGA広報委員）
高岡和弘（KGA広報委員）
冨澤 仁（KGA広報委員）
本條 強（KGA広報委員）
鈴木遍理（KGA広報参与）
福島 靖（KGA広報参与）

表紙／関東倶楽部対抗 相模原ゴルフクラブ
撮影・塚越克一KGA広報副委員長、大竹 茂KGA広報委員、冨澤 仁KGA広報委員
目次／関東女子倶楽部対抗 メイプルポイントゴルフクラブ
撮影・塚越克一KGA広報副委員長、大竹 茂KGA広報委員、久保田昌幸KGA広報委員

決勝競技

相模原ゴルフクラブ 東・西コース（神奈川県）

Aクラス 東コース：6509Y・P72／Bクラス 西コース：6920Y・P72

倶楽部の名誉を背負って快晴のフェアウェイへ！

早朝のスタート前、東千葉CCは自信がみなぎっていた。

関東倶楽部対抗

記録的な長梅雨の晴れ間 関東の強豪勢が集結

高齢化が進む日本で、ゴルフには認知症を予防する効果あることが東京大学などの研究グループによって実証されたことはご存じの通りだ。

関東倶楽部対抗競技はさらに、今後の社会があるべき姿をつくっている。世代間のギャップを乗り越え、さまざまな年代が協力しあって目標に立ち向かう。それを周囲の人や家族が支えるという理想の構図だ。

決勝に出場する各倶楽部は、55歳以上のAクラス3名と、年齢制限がないBクラス3名の、計6名でチームを構成する。順位はA・B各クラスのスコア上位各2名、計4名のスコアによって

関東倶楽部対抗決勝競技

2019年6月17日（月）● 参加倶楽部数：49 ● 出場選手：147名 ● 競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場 各クラス上位2名、計4名の合計スコア

撮影・塚越克一KGA広報副委員長、大竹 茂KGA広報委員、冨澤 仁KGA広報委員、鈴木一也KGA広報委員

BP 最優秀選手賞に輝いた（左から）豊島選手、和田選手、中野選手、伊藤選手、室野選手。

倶楽部のための団体戦、家族のための個人戦。豊島選手のファミリーヒストリーは、関東倶楽部対抗決勝競技に楽しいエピソードを提供してくれます。

MEMO 天候：晴れ　気温：27.5度　風向：南南西　風速：3.0m/s

決まるため、各年代の選手がベストの力を発揮することが求められる。

2年連続9回目の優勝を今回飾った東千葉カントリークラブは、そのような理想型を成し遂げたチームといえるだろう。

大藏満彦倶楽部監督は「うちのチームはなごやかに見えるけど、裏では各選手が凄くファイトを抱いている。研修会で激しく争い、チームを強くするために若手がベテランを叱咤激励することもある」と言う。

実際、今回も71のベストスコアをマークした42歳の豊島豊選手は、中央学院大時代までは無名。それが25歳で同倶楽部に入るとチームの中で成長し、日本ミッドアマを制するまでの選手に成長した。

ただ、昨年は7打の大差をつけた東千葉CCも、今回は若手が成長した袖ケ浦CCとは2打差。各倶楽部が打倒・東千葉を標榜する来年が一層楽しみになってきた。

（取材・文　鈴木遍理KGA広報参与）

今回はブービーメーカーながら明日の豊科のためタイのため

スラサク・ラッタナン選手

タイから日本にわたって18年。初めての関東倶楽部対抗決勝競技出場は、39歳のスラサク・ラッタナン選手（豊科）にとって、ほろ苦かったようだ。

スコア84、チームは最下位の49位に終わり「難しかった。グリーンに乗らなかった」と、ため息をついた。

ゴルフを始めたのは9年前。今ではハンディ0となったが「これほどのプレッシャーの中でラウンドしたことはなかった」と言う。ここ数年は、タイ出身選手の活躍が男女とも世界で目立つ。それだけに「タイのゴルファーがこんなに頑張っているのに恥ずかしい。来年、また戻ってきます」と誓った。

GK REPORT

相模原GC
芝岡誠一グリーンキーパー

決勝当日、快晴となって本当に良かったです。グリーンは3.2ミリで11.2フィートと、通常より刈り高も低くスピードも速くしました。2日前に60ミリ以上の降雨があったので、硬さも心配していたのですが、その後日差しもあり風も吹いたことでコンパクション的には問題がなかったかと思っています。

プロは確かに高い技術は持っていますが、関東倶楽部対抗では選手だけでなく、参加している各倶楽部の方々の視線も気になります。多くのゴルフ場関係者の方々に評価いただけるように、コース管理者として一層気合いの入る大会です。

当日の競技速報はKGAホームページへアクセス！

決勝 競技 入賞倶楽部

優勝 東千葉カントリークラブ／297ストローク

2位 袖ヶ浦カンツリークラブ／299ストローク

3位 富士カントリー笠間倶楽部／300ストローク

4位 扶桑カントリー倶楽部／301ストローク

5位 姉ヶ崎カントリー倶楽部／303ストローク

BP 最優秀選手賞

Aクラス：和田 博（袖ヶ浦）73
阿部 勝彦（嵐山）73
伊藤 啓二（穂高）73
室野 歩（東千葉）73
中野 正義（富士笠間）73

Bクラス：豊島 豊（東千葉）71

和田選手

阿部選手

伊藤選手

室野選手

中野選手

豊島選手

高橋大会会長

左から、相模原GCの鳴澤理事長と亀岡副理事長

HOLE IN ONE

Aクラスの永井英輔選手（59歳・東京国際）がホールインワンを達成した。

インスタート2ホール目の11番は、池越えの美しいショートホール。148ヤードを8番アイアンで打ち、1メートルほど手前からカップに吸い込まれた。「入ったところは見えなかった。周りから声が出て分かった」と永井選手。これがなんと5回目のエースという。

前回は4年前、倶楽部対抗競技の練習ラウンドだった。この日のスコアは2オーバー74。チームは14位で「一緒に回ったパートナーに恵まれた。満足のラウンドでした」と充実感をあふれさせた。

開催倶楽部、中条GCの代表選手と関係者

ただ名誉を懸けての団体戦です。

日本海からの海風は
防風林の上空にも
ハザードを構築している

新潟
第1会場予選

中条ゴルフ倶楽部

Aクラス・6439Y・P72／Bクラス・6742Y・P72

終日雨降りの天候ながら競技は白熱（全景は後日撮影）

令和元年5月21日（火）、関東倶楽部対抗新潟第1会場予選競技が、中条ゴルフ倶楽部において開催され、16倶楽部の精鋭たちが2つの決勝進出枠を目指して熱戦を展開しました。

開催コースの中条ゴルフ倶楽部は、新潟県北部の胎内市の海岸近くに位置し、松林に囲まれた比較的フラットな林間コースとして昭和63年に開場し、その後、新しい経営による再スタートから今年で10年目を迎えています。この間、関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技や関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技の開催コースに選ばれ、また本予選競技も開場以来3回目の開催となりました。

当日、心配していた天気は予報が的中して、雨が降りしきる中でのスタートとなり、時折り強くなる雨足に、その後のコース状況が心配されるほどでした。そんな雨もみんなの願いが通じたのか、お昼前頃には止みはじめ、レインウェアを着ることもなくホールアウトすることができました。

当倶楽部は平成3年の第24回予選競技に初めて参加し、その後の順位も中くらいで推移してきました。数年前から競技志向の実力者たちの入会もあって、全体のレベルも徐々に上がるとともに、本予選会の順位も上がりはじめ、ようやく決勝大会出場への道筋が見えてきたように感じていました。

そんな折、当倶楽部で本予選が開催されることが決まったことから、選手選考会の熾烈な闘いを勝ち抜いた代表選手たちの固いチームワークと、支配人の温かい支援もあって、例年以上のモチベーションで練習を重ねて予選会に臨みました。

結果は、雨の中を全員が粘り強くプレーした我がチームが、決勝進出の常連チームや最近力をつけてきた実力チームにも勝利し、2位のチームに予想外の11打差をつけて初優勝し、悲願の決勝進出を果たすことが出来ました。この喜びを倶楽部のスタッフ、先輩選手、応援してくれた皆さんと分かちあいたいと思います。

選手にベストなコースコンディションでプレーしてもらいたいとの思いで、周到な準備をしたコース管理部の皆さん、そして、いつものことながら自ら申し出て、特に今回は雨の中、フォアキャディーとして競技を支えてくれた当倶楽部の会員の皆さんに敬意を表します。

最後になりましたが、本競技の円滑な運営にご尽力いただいた関東ゴルフ連盟の鈴木担当競技委員長および新潟県ゴルフ連盟の役員の皆様、ならびに本競技会を盛り上げていただいた参加倶楽部の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

（中条ゴルフ倶楽部理事・競技委員長・源川勝彦）

決勝 進出倶楽部

1位　中条ゴルフ倶楽部／487ストローク

2位　笹神五頭ゴルフ倶楽部／498ストローク

この日に合わせて花壇の花々は満開の「おもてなし」です。

新潟第1会場予選競技

2019年5月21日（火）● 参加倶楽部数：16 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場 6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：塩田 義行（笹神五頭）78
Bクラス：目黒 学（日本海）74

新潟
第2会場予選

新潟ゴルフ倶楽部

Aクラス:6335Y・P72／Bクラス:6555Y・P72

越後平野に浮かぶ赤松林が戦略性を高める

令和元年5月23日（木）、関東倶楽部対抗新潟第2会場予選競技が当倶楽部で、16倶楽部・96名の選手が参加して開催されました。

当新潟ゴルフ倶楽部は昭和33年10月に、新潟市郊外の『佐渡・弥彦国定公園』の中に、県内最初のゴルフ場として開場いたしました。

弥彦山を背に、赤松でセパレートされたアウトコース。越後平野の素晴らしい眺望で、なだらかな丘陵のインコース。アウトコースとインコースで、まったく異なった特徴を持ち、戦略性あふれる18コースであります。

当倶楽部での開催は平成25年以来、6年ぶりの開催となりますが、選手の皆様にご満足いただけるようにとスタッフ一同一丸となり、準備に取り組んでまいりました。

コースメンテナンスは選手の皆様が力を存分に発揮いただけるよう、コンディション作りにはスタッフが気を配りメンテナンスを進めてまいりました。

競技当日は朝から快晴、微風、気温27度と好天に恵まれ、絶好のゴルフ日和となりました。各選手は入念にストレッチや練習をし、午前7時30分、定刻通りに緊張感に包まれつつも、各倶楽部の大勢の応援団やギャラリーの温かい声援を背に、勇躍スタートして行きました。

前半途中の経過やホールアウト後も、各倶楽部の成績がスコアボードに記入されるたびに選手、各倶楽部の皆様から歓声やねぎらいの声が響き、これが倶楽部対抗戦だという雰囲気でありました。

アウトは重厚な赤松林
インは越後平野の背景に
越後三山の勇姿

スタートホールは熱い声援が飛び交う。

緊張の最終18番ホールのパット。

決勝 進出倶楽部

1位　湯田上カントリークラブ／474ストローク

2位　松ケ峯カントリー倶楽部／479ストローク

新潟第2会場予選競技

2019年5月23日（木）● 参加倶楽部数: 16 通過倶楽部数: 2 ● 競技方法: Aクラス3名、Bクラス3名出場 6名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
Aクラス：西脇 豊（グリーンヒル長岡）73
Bクラス：阿部 祐希（湯田上）72

競技も無事終了し、戦い終えた選手の皆様は安堵感いっぱいの表情で、表彰式会場では、和気あいあいと他倶楽部の選手たちと過ごす中、表彰式も無事終了しました。

表彰式終了後、ホームコースの選手が参加倶楽部選手をお見送りする姿は、いつ見ても気持ちの良いものです。

最後になりましたが、鈴木担当競技委員長をはじめKGA競技委員の皆様には、打ち合せから競技終了までのご指導、運営に対して厚く御礼申し上げます。

また、キャディーでご協力いただいた新津CCの皆様、そしてご参加いただいた各倶楽部の皆様、大会をサポートしていただきましたすべての皆様のご支援、ご協力で無事競技を終了できましたことに心より感謝申し上げます。

（新潟ゴルフ倶楽部取締役支配人・小川春文）

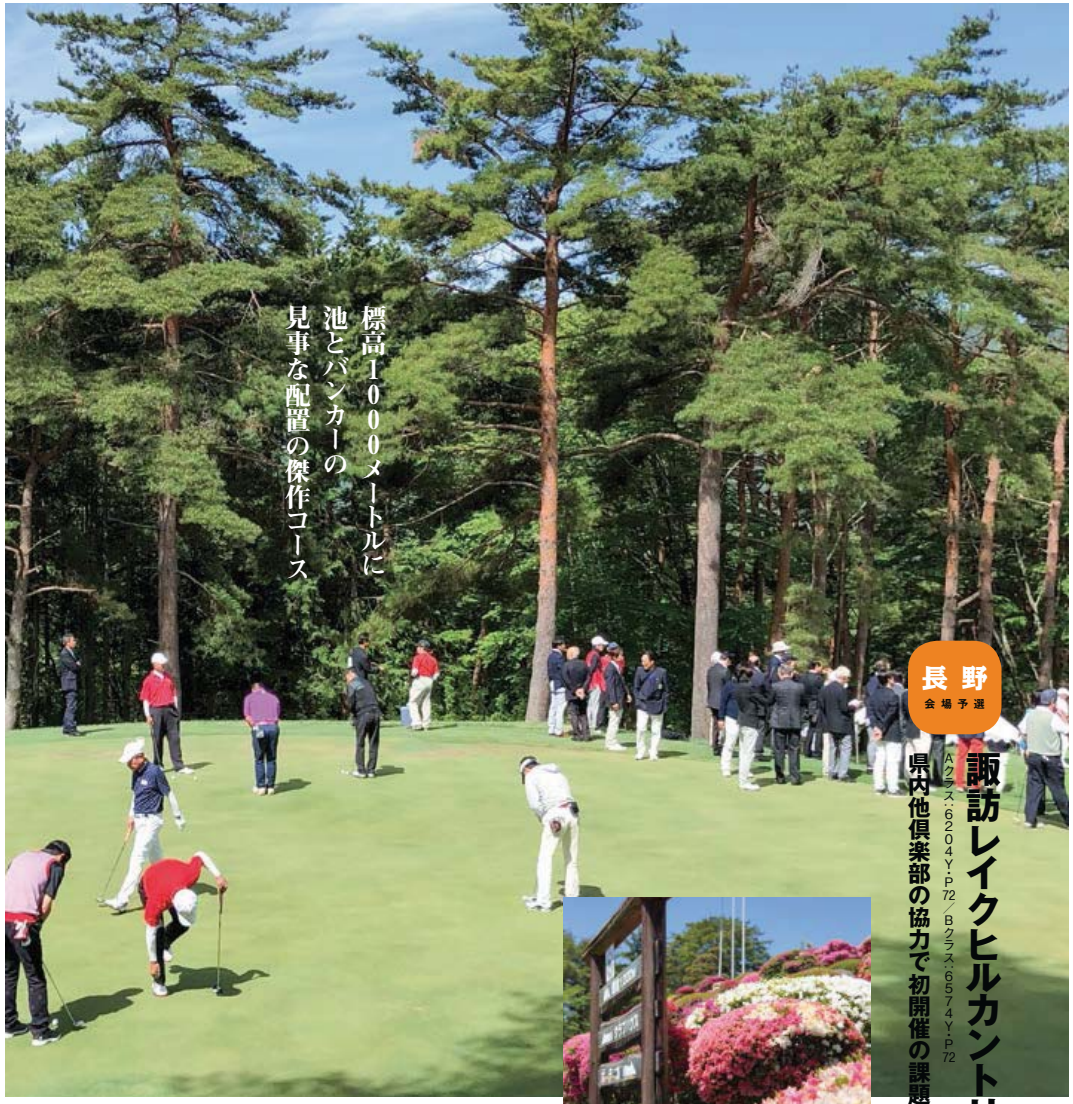
最終18番ホールを見守るギャラリー。

長野 会場予選

諏訪レイクヒルカントリークラブ アウト・インコース

Aクラス：6204Y・P72／Bクラス：6574Y・P72

県内他倶楽部の協力で初開催の課題を解決して成功へとつながる



標高1000メートルに池とバンカーの見事な配置の傑作コース

2019年関東倶楽部対抗長野会場予選競技が、5月22日（水）に諏訪レイクヒルカントリークラブにて開催されました。県内24倶楽部より144名の選手が参加され、決勝大会出場をかけ、早朝より熱戦が繰り広げられました。

当倶楽部は標高1000メートルに位置し、日本オープンの覇者、フィリピンのベン・アルダが設計。昭和53年に開場し42年目を迎えるコースですが、関東倶楽部対抗長野会場予選競技の開催は初となりました。

初開催にあたる試練かの如く、前日には50ミリの降雨があり、思い描く通りに事は進みませんでした。雨が上がるのを待ち、コース管理部はもちろん全従業員までが整備応援にまわり、なんとか皆様にご満足いただけるコンディションは用意できたことと存じます。

競技当日は前日から一転、絶好のゴルフ日和となり、予定の7時30分より2019年関東倶楽部対抗長野予選競技を、無事スタートさせることができました。スタート後も他倶楽部の帯同キャディーの方々のご協力と、倶楽部会員によるフォアキャディーのボランティアのお手伝いをいただき、スムーズな進行ができました。

競技は予想よりもスコアが伸びず、スコアボード前で暫定順位が目まぐるしく変わる展開となりましたが、結果、豊科カントリー倶楽部が優勝、穂高カントリークラブが2位、そして当諏訪レイクヒルカントリークラブが3位となり、こちらも初の決勝大会進出を果たすことができました。決勝大会では、長野県代表倶楽部の名に恥じぬよう死力を尽くしてまいります。

本競技開催にあたり、関東ゴルフ連盟の大橋担当競技委員長をはじめ競技委員の皆様には幾度となくご助言を賜り、設備も経験も不十分である当倶楽部を成功までお導きいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

そして何よりも、成功に向けていただいた当倶楽部会員諸氏の誇れる心意気と、県内の他倶楽部様の惜しみないご協力に心より感謝申し上げ、開催倶楽部より御礼のご挨拶とさせていただきます。

（諏訪レイクヒルカントリークラブ支配人・矢沢祐二）

長野県の親睦の象徴、24枚の倶楽部旗。

高原コースは空が近くて巨大。9番ホールのダイナミズム。

1位　豊科カントリー倶楽部／306ストローク

2位　穂高カントリークラブ／311ストローク

3位　諏訪レイクヒルカントリークラブ／311ストローク

長野会場予選競技

2019年5月22日（水）● 参加倶楽部数：24 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法: Aクラス3名、Bクラス3名出場 各クラス上位2名、計4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
Aクラス：小林 博司（豊科）73
Bクラス：宮島 一馬（塩嶺）72

八木大会会長

諏訪レイクヒルの林理事長（左）と高瀬副社長

諏訪レイクヒルの理事各位

決勝 進出倶楽部

富士山麓の原生林を贅沢に縫ってフェアウェイに白球を追う

山梨 会場予選 富士レイクサイドカントリー倶楽部

Aクラス:6550Y・P72／Bクラス:6697Y・P72

快晴の富士山を仰ぎ芝打席で練習する醍醐味

令和元年5月16日（木）、改元後初となる関東倶楽部対抗山梨予選競技が、県下最古のメンバーシップコースである富士レイクサイドカントリー倶楽部において開催されました。今年は富士ロイヤルカントリークラブが加わり、合計18チームでの競技となりました。

当日は参加選手の意欲を掻き立てるように、雄大な富士山も姿を表す絶好のゴルフ日和となりました。

今年は例年に比べ冬場の降雪がなく、乾燥によるコースへの影響が懸念されました。しかし松澤キーパーをはじめコース管理スタッフの努力により、林帯整備やグリーンコンディションには特に神経を使い、この時期のベストな状態でお迎えできたと思います。

担当競技委員長からのご指示もあり、〝富士レイクらしい〟高速グリーンではなかったかも知れませんが、グリーン周りの難しさ、距離のあるミドルホールに選手の皆さんも苦戦されていたようでした。

また、佐野支配人の強い想いから、富士山に向かってショットする練習場で、せっかくなので選手の方々に芝の上から打っていただこうと、オープン前より養生を進めた真っ青な芝打席が仕上がり、当日は各選手がいつも以上に熱の入った練習をされ、大変好評をいただきました。

コース内では各倶楽部とも例年以上に応援団が集まり、約250台可能な駐車スペースも満車になるほどでした。プレー中も応援エリアである1番、10番のティーイングエリア周りや9番、18番のグリーン周りでは、大きな声援と歓声が止むことはありませんでした。

競技は倶楽部対抗特有の緊張感、駆け引きが感じられ、倶楽部の名誉を背負った選手達は、前半崩れた選手も後半でナイスプレーを連発するなど、まるでワールドカップを見ているような白熱した戦いでした。

予選を通過したのはメイプルポイントゴルフクラブとオリムピックカントリークラブで、相模原ゴルフクラブで行われる決勝競技での健闘を心よりお祈りいたします。

最後に本競技の開催にあたりまして、当倶楽部で初開催ということもあり不備が多く、鈴木担当競技委員長をはじめとする競技委員の皆様、事務局の方々、そしてなにより出場選手、ゴルフ場関係者の皆様に色々な面でご迷惑をおかけいたしました事、改めてお詫びいたしますとともに、開催までに大変なご尽力、ご協力をいただきました事に、心より感謝申し上げます。

（富士レイクサイドカントリー倶楽部 副支配人・日向智秀）

決勝 進出倶楽部

1位　メイプルポイントゴルフクラブ／471ストローク

2位　オリムピックカントリークラブ／475ストローク

山梨会場予選競技

2019年5月16日（木）● 参加倶楽部数：18 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：星野 一（春日居）74
　　石井 重次（メイプルポイント）74
Bクラス：二宮 啓太（富士川）72

TEAM FUJI LAKESIDE

上段左から右へ、岡田和樹選手、宮本健司選手、松浦真吾選手、菅原剛選手、田中博幸選手、田中秀司選手、渡辺均選手、渡辺勝明選手

キャディー業務を終え応援に駆けつけた富士レイクサイドCC所属のハウスキャディーさん。

大好評だった芝打席の練習場

志村大会会長

富士レイクサイドCCの松浦キャプテン

開催倶楽部、富士レイクサイドCCの代表選手と関係者

群馬 第1会場予選

太田双葉カントリークラブ 愛宕・御所入コース

Aクラス:6454Y・P72／Bクラス:6707Y・P72

競技日は春の嵐、雨・風が選手を翻弄するも無事終了

令和初の関東倶楽部対抗群馬第1会場予選競技が、5月21日(火)に太田双葉カントリークラブ(愛宕・御所入コース)にて、県内各地より15倶楽部・120名の選手が参加し開催されました。

当倶楽部は16年前に同じ関東倶楽部対抗群馬予選競技を開催しております。その経験を生かし選手には最高の実力が発揮出来るようにと、グリーンキーパーを先頭にコーススタッフ全員が最高の環境を提供出来る様にと準備し、コースメンテナンスを行ってまいりました。

しかし当日のコースコンディションは雨・風の影響で時間の経過とともに悪化の状態へと様変わり致しました。競技日前日までは春らしい好天が続いておりましたが、競技当日は予報通りの雨模様。前夜から降り始めた雨は当日も止む様子を見せず、スタート時刻には本格的な大雨と大風となりました。

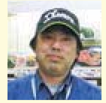
幸いティー、グリーンには影響がなく、選手は予定時刻にティーオフし競技がスタートとなりましたが、時間が進むにつれ、雨・風は強まるばかり。スタートテントで行われていた競技委員からの注意事項連絡なども、あまりの強風と大雨により途中からスタートハウスに移動せざるを得ないまでの悪天候。関東・東北に掛かる雨雲は午前中に抜ける予報でしたが、結局、雨が降り止んだのは競技終了の1時間ほど前のこと。競技も途中1時間弱の中断を挟みましたが、大きなトラブルもなく全選手がホールアウトし、無事に競技を終えることができました。

スコア確認を終えて競技終了。

太田双葉CCの応援に。

GK REPORT

太田双葉CC
周藤光治コース課課長



太田市には観測所ないので話題になりませんが、私たちの観測記録によれば熊谷市を抜いて日本一の酷暑地帯でしょう。今年は7月末から連続10日間も気温37度超え。1年中、ベント芝が熱で“溶けない”ように守る戦いです。コースは27ホールの個性をお楽しみください。

愛宕グリーンは降雨の影響なし。

悪天候での一時中断も。

決勝進出倶楽部

1位　初穂カントリークラブ／466ストローク

2位　藤岡ゴルフクラブ／470ストローク

群馬第1会場予選競技

2019年5月21日(火) ● 参加倶楽部数: 15 ● 通過倶楽部数: 2 ● 競技方法: Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞
Aクラス：井川 智一郎 (初穂) 74
Bクラス：山田 翔太 (初穂) 74

井川選手

山田選手

左から、萩原大会会長、太田双葉CCの辻競技委員長、貝瀬総支配人

開催倶楽部、太田双葉CCの代表選手と関係者

また、各倶楽部の応援団も途中、外での応援を諦め、館内での情報収集に没頭。9ホール終了後には歓喜の倶楽部あり、首をうな垂れる倶楽部あり。各倶楽部の様子を拝見していて「これが倶楽部対抗だな」と、改めて感じさせられた大会でもありました。

結果、当倶楽部は残念ながら6位と予選通過は果たせませんでしたが、激戦を制した1位の初穂CC、2位の藤岡GCには決勝大会でのご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、ご尽力いただきました豊泉担当競技委員長をはじめ関東ゴルフ連盟の皆様、また各倶楽部代表選手・応援団の皆様、さらにはサポートしていただきましたすべての皆々様には、改めて御礼を申し上げるとともに、無事に本競技を終えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。(太田双葉カントリークラブ・総支配人 貝瀬智明)

群馬
第2会場予選

関越ハイランドゴルフクラブ

サザンカ・ケヤキコース

Aクラス：6090Y・P72／Bクラス：6406Y・P72

絶好のゴルフ日和に好スコア続出

林間コースの趣を楽しみ グリーンで油断すると 思わぬ大叩きも

開催倶楽部、関越ハイランドGCの代表選手と関係者

関越ハイランドゴルフクラブにおいて2019年関東倶楽部対抗群馬第2会場予選競技が、15倶楽部・120選手の参加にて、5月23日（木）に開催されました。

開催当日は数日前の大雨が嘘のように快晴に恵まれ、多くのギャラリーの皆様からの応援が飛び交う中、例年にないスコアが出る熱戦が繰り広げられました。

特に予選を通過された伊香保ゴルフ倶楽部様、レーサムゴルフ&スパリゾート様においては447ストロークと素晴しいスコアとなり、ギャラリー・大会関係者の皆様からも驚きの声が上がるほどの、素晴らしいプレーを披露され大会を盛り上げていただきました。

当倶楽部においては1年前に開催決定後、選手の皆様に満足いただける大会として、従業員一同準備を進めてまいりました。特にグリーン周りのコンディションにおいては、細心の注意をはらい入念なスポット散水、更新作業を実施し、またフェアウェイ・ラフなどにおいても日々営業終了後、数名のスタッフにて目土作業を実施するなど、できる限りの対応を実施しコンディション向上に努めてきたことで、無事大会を開催することができ安堵いたしております。

ハイランドのラウンドは飛距離が伸びる？

開催にあたりましては豊泉担当競技委員長をはじめとした関東ゴルフ連盟関係者の皆様の手厚いご指導を賜りましたこと、また、ご出場いただきました選手・クラブ関係者の皆様、ギャラリーの皆様の多大なるご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

（関越ハイランドゴルフクラブ支配人・渡邊徹）

決勝進出倶楽部

1位　伊香保ゴルフ倶楽部 ／447ストローク

2位　レーサムゴルフ&スパリゾート／447ストローク

群馬第2会場予選競技

2019年5月23日（木）● 参加倶楽部数：15 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：新井 佳泉（グリーンパーク）72
Bクラス：吉山 公章（伊香保GC）69
　　高瀬 清美（レーサム）69

新井選手

吉山選手

高瀬選手

貴井大会会長

関越ハイランド GCの田村理事長（左）と三橋副理事

栃木ゴルフ倶楽部鹿沼コース 東・北コース

栃木 第1会場予選

Aクラス:6205Y・P72／Bクラス:6518Y・P72

美しい自然に囲まれた各ホールに高い戦略性

令和元年5月16日（木）、曇りのち晴れ、気温25度。最高の天気の中、関東倶楽部対抗栃木第1会場予選競技を皐月ゴルフ倶楽部鹿沼コース、東（アウト）コース、北（イン）コースにて全18倶楽部144名の選手をお迎えし開催することができました。

本倶楽部は昭和50年7月に開場し44年目を迎えますが、関東倶楽部対抗予選競技の開催は2009年と今回で2回目となります。10年前とはスタッフも入れ替わり、KGA競技委員の皆様にご指導いただきながら、運営準備に不備がないよう進めてまいりました。

当日のコースセッティングはグリーンの刈り高3・8ミリ、スティンプメーター9・8フィートと良い状態で提供できたと思います。前日の夜から明け方にかけて雨が降ったこともあり、当日、カートのフェアウェイ乗入れは出来ませんでしたが、プレー進行も平均ハーフ2時間20分前後と順調にホールアウトされました。

結果は皆川城カントリークラブが451ストロークで第1位、芳賀カントリークラブが461ストロークで第2位と見事予選突破をされました。

ベストスコアはAクラス72ストローク、Bクラス71ストロークと、距離以上の難しさがあったようです。

我がチームは地の利を生かし切ることが出来ず、残念ながら11位と予選突破することは叶いませんでした。予選突破されました2チームには、ぜひとも栃木第1会場の代表として、決勝大会での健闘を祈念しております。

表彰式では田辺担当競技委員長の成績発表があり、福島大会会長より賞品の授与とご挨拶をいただき、当倶楽部の弦本理事長の挨拶、当倶楽部の仁平競技委員長の乾杯挨拶、最後に優勝チーム代表のご挨拶にて盛大に表彰式の幕を閉じ、無事に競技を終了いたしました。

最後になりますが、本競技開催にあたり、ご尽力いただきましたKGAの皆様、ご参加くださいました各倶楽部の選手・応援団の皆様、そしてセルフプレーでの開催ということもあり、駐車場整理やコースでのフォアキャディー等、ボランティアとしてご協力くださいました皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（皐月ゴルフ倶楽部 鹿沼コース 支配人・金子勇一）

理想的な高低差の丘陵コース 27ホールが個性的

TEAM SATSUKI KANUMA

左から、坂口、大川、佐藤、早坂、田村、石井、斎藤、水野の各選手

皐月GC鹿沼の会員のボランティア各位

GK REPORT

皐月GC鹿沼コース
金子則夫グリーンキーパー

競技前日の雨も上がり、KGA様のご要望通りのグリーンを仕上げることができ、ホッとしました。キーパー歴30年になりますが、絶えずグリーンの表情（喜怒哀楽）を読んで、コンディション作りに対処しています。手抜きはしません。

決勝進出倶楽部

1位　皆川城カントリークラブ／451ストローク

2位　芳賀カントリークラブ／461ストローク

栃木第1会場予選競技

2019年5月16日（木）● 参加倶楽部数: 18 ● 通過倶楽部数: 2 ● 競技方法: Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**

Aクラス：舘野 章（芳賀）72
Bクラス：植木 俊宏（皆川城）71

舘野選手

植木選手

福島大会会長

皐月GC鹿沼の弦本理事長（左）と仁平競技委員長

栃木
第2会場予選

唐沢ゴルフ倶楽部三好コース

Aクラス：6405Y・P72／Bクラス：6908Y・P72

新型ローラーの導入でグリーン整備は万全です

2019年関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技が去る5月24日（金）、当唐沢ゴルフ倶楽部・三好コースにて行われ、18倶楽部・144名の参加者により熱戦が繰り広げられました。

年号も平成から令和に変わり、第1回目の関東倶楽部対抗栃木第2会場の舞台を、各倶楽部代表の皆様にご提供することができ、大変名誉なことと当倶楽部関係者一同、心より感謝いたしております。

2011年にも栃木地区予選競技をお受けいたしましたが、その年はイノシシによる被害を受けコース全体が修復跡だらけで、ご参加いただいた選手の皆様には大変ご迷惑をお掛けしたと同時に、開催倶楽部として情けない思いでいっぱいでした。

このようなこともあり、今回はコースのコンディション向上に全力をつくし、選手の皆様がご満足いただけるコース造りに努めました。グリーンは新たに購入したローラーによる転圧を行い、当日は3・8㍉でのカットを実施いたしました。コンパクションは2・5、スティンプメーターによる計測では10㌳を記録し、良好な仕上がりとなりました。若干固めなグリーンに手こずられた選手もおられたようですが、多くの皆様からお褒めの言葉を頂戴し、メンテナンスに携わった管理員の喜びは一入（ひとしお）でした。

当日は絶好のゴルフ日和となり、選手の皆様はもとより各倶楽部応援の皆様方にも熱が入り、スタートホールでのティーショットや上がりホールでのカップインのたびに歓喜の声があがり、この賑やかさこそまさに倶楽部対抗と言う雰囲気となりました。

新ルールに変わり混乱の心配はございましたが、選手の皆様は十分勉強され新ルールに対応されており、大きな問題もなく無事競技を終了することができました。

熱戦の結果、当唐沢ゴルフ倶楽部が地の利を活かして1位通過を果たし、併せてA・B各クラスのメダリストも獲得することができました。2位には日光カンツリー倶楽部が入り、この2チームが決勝の地である相模原ゴルフクラブに進出することとなりました。決勝戦では栃木県代表としてご活躍されますことを心よりご祈念申し上げます。

本競技の開催にあたりまして金子大会会長、黒野担当競技委員長をはじめ関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、ならびに関係するすべての皆様方に心より感謝を申し上げます。（唐沢ゴルフ倶楽部総支配人・栗原俊行）

1位　唐沢ゴルフ倶楽部／460ストローク

2位　日光カンツリー倶楽部／466ストローク

栃木第2会場予選競技

2019年5月24日（金）● 参加倶楽部数：18 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：相澤 久之（唐沢）73

Bクラス：亀井 隆（唐沢）71

唐沢GC所属の亀井選手（左）と相澤選手

金子大会会長

唐沢GCの
吉澤理事長

唐沢GC・亀井選手の華麗なショット。

女性応援団は元気いっぱい。

豊富な樹木の楽園
フェアウェイは広く
戦略的要素が満載

栃木
第3会場予選

大日向カントリー倶楽部 西・東コース

Aクラス・6487Y・P72／Bクラス・6766Y・P72

大雨で順延後、全スタッフで復旧作業にあたる

時代が令和に変わり記念すべき第1回目の関東倶楽部対抗栃木第3会場予選競技でしたが、競技日の5月21日（火）は天気予報通り朝から生憎の大雨。それでも予定通り7時30分からスタートするものの、9時30分にプレーが中断。13時30分にコースコンディションの回復が見込めないため、5月27日（月）の予備日への順延が正式に決定されました。

金子グリーンキーパーの陣頭指揮の下で、中5日でのコースコンディション回復に努めました。大雨で砂が大量に流出したバンカー整備など非常に苦労はしましたが、全スタッフが良好な状態で選手たちをお迎えしたいとの信念を強く持って作業に当たりました。

当日は快晴・微風、気温32度と、初夏を思わせるような絶好のゴルフ日和の中、グリーン刈り高3・4ミリ、スティンプメーター10・5フィートのコンディションを提供することができて、参加いただいた各倶楽部の選手からも高い評価を頂戴しました。

競技結果につきましては、Bクラスの稲沢選手がベストスコア賞を獲得するなど、461ストロークで那須小川ゴルフクラブとタイスコアでした。

Bクラス4人目の篠江選手が、多くのギャラリーが見守る中での最終9番ロングホール。残り70ヤードの3打目を直接カップインさせる劇的なチップインイーグルを奪い、初参加から14年目で初めて悲願のベスト8を手中に収めることができました。決勝大会でも栃木県代表チームとして、心地よい緊張感を持ってゴルフを楽しみながら、上位入賞を目指し頑張りたいと思います。

最後になりますが、競技開催にあたりまして谷津大会会長、露木担当競技委員長をはじめKGAの皆様、参加いただいた倶楽部の選手・関係者の皆様、大会運営にご協力いただきましたボランティアスタッフの皆様に衷心より感謝申し上げます。

（大日向カントリー倶楽部副支配人・関谷能人）

ティーショットは
大胆にのびのびと
グリーン周りは細心の注意で

スタート時点の諸事項確認は重要。

決勝 進出倶楽部

1位　大日向カントリー倶楽部／461ストローク

2位　那須小川ゴルフクラブ／461ストローク

栃木第三会場予選競技

2019年5月27日（月）● 参加倶楽部数：17 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：柏木 豪
（ニュー・セントアンドリュース）70

Bクラス：稲沢 宏之（大日向）72

柏木選手

稲沢選手

谷津大会会長

谷津大会会長から大日向CC
小峰キャプテンへベナントの授与。

スコアの確認で競技終了。

大利根カントリークラブ 西コース

茨城 第1会場予選

Aクラス：6413Y・P72／Bクラス：6875Y・P72

ティーとグリーンが近いため観戦に絶好

樹木1本でも 攻略の難易度に影響する 井上設計の妙

大利根カントリークラブは1960年に井上誠一氏の設計により開場して、来年で60周年を迎えます。初めて倶楽部対抗の競技を迎えたのが昭和41年（53年前）でした。

数えて今回で5回目の開催となりますが、去る5月20日（月）に茨城第一予選会場として、53年前と同じ西コースにて、19倶楽部の熱き戦いが繰り広げられました。元号が「令和」となって初めてのKGA競技を迎えることができ、スタッフ一同感慨深いものがありました。

当日は終日曇りの予報でしたが、最近の天気は予報を裏切ることが多々ありますので、全員ホールアウトするまで気が抜けない状態でおりました。時折り、ポツポツと降り始めはしましたが、途中の中断もなく、選手の皆さんがプレーに集中できたことが、何より良かったと思っております。

当コースはOUT・INのティーイングエリアも、最終ホールのグリーンも、隣り合わせにデザインされています。応援時の移動距離が少ないのが利点でありますので、多くの方々が応援に集まられ、選手の皆さんも励みになったのではないでしょうか。

グリーンコンディションとしましては、刈り高3・2ミリ、スピードが11フィート、コンパクション23で少し難しいセッティングとなりました。そのうえ終日、風が吹いたために苦労された選手も多かったようですが、アンダーパーを出された方もいらっしゃいまして、さすが茨城のレベルの高さを感じました。

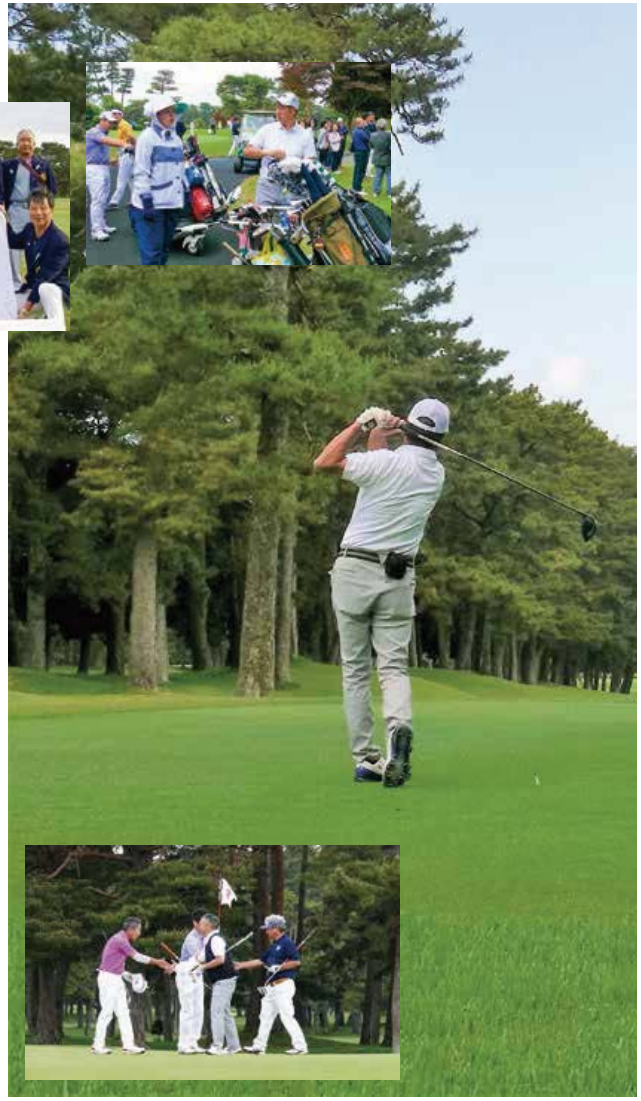
最終結果は467ストロークで富士カントリー笠間倶楽部が優勝、準優勝が茨城ゴルフ倶楽部で、この2倶楽部が相模原ゴルフクラブで行われる決勝に進まれます。両倶楽部のご健闘を心より祈念申し上げます。

今回は応援ブースをクラブハウス内に設置しました関係上、応援者の方々には少々窮屈な思いをお掛けしましたが、当日の風や小雨を振り返り、館内で良かったと思っております。

各倶楽部の皆様方のご協力に感謝申し上げます。また、牧長一喜大会会長、赤澤担当競技委員長、また前日、当日の早朝からコースチェックなど、運営にご尽力いただきました連盟の方々には心より御礼を申し上げます。（大利根カントリークラブ支配人・大森啓幹）

大利根CCの応援団の皆様

開催倶楽部、大利根CCの代表選手



決勝進出倶楽部

1位　富士カントリー笠間倶楽部／467ストローク

2位　茨城ゴルフ倶楽部／483ストローク

茨城第1会場予選競技

2019年5月20日（月）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：半田 裕一（富士笠間）74
和田 貴之（桜の宮）74
中野 正義（富士笠間）74
Bクラス：鈴木 清隆（ゴルフ5・サニーフィールド）71

左から、半田選手、中野選手、和田選手

鈴木選手

牧長大会会長

大利根CCの山口キャプテン

茨城
第2会場予選

取手国際ゴルフクラブ 東コース

Aクラス：6403Y・P72／Bクラス：6809Y・P72

リニューアル完成後のお披露目で高難度の評価

新生・東コースは
「世界のアオキ」
青木功プロ改造の傑作

開催倶楽部、取手国際GCの代表選手と関係者

令和元年5月14日（火）、関東倶楽部対抗茨城第2会場予選競技が、取手国際ゴルフ倶楽部東コースにて、19倶楽部・152名の選手をお迎えして行われました。

昨年8月に開場60周年を迎えました当ゴルフ倶楽部は、東コース・西コースの36ホールを有しています。今回の競技の舞台となりました東コースは『世界ゴルフ殿堂』メンバーの青木功プロ改造監修のもと、1年強にわたる完全クローズでの大規模改修工事を経て2015年11月にリニューアルし、より一層技術と戦略が求められる攻略しがいのあるコースとなっております。

競技当日の天気予報では関東地方に荒天の予報が出ており、朝から雲が多く湿った空気の中、雷を気にしながらのスタートとなりました。幸い雨は降らなかったものの、昼過ぎからは風速2メートルから5メートルと風が強まり、固いグリーンと強風が選手を困らせたのではないでしょうか。

グリーンはコース管理部のスタッフが何か月も前から入念に準備をし、非常にタフな仕上がりとなりました。当日はグリーンの刈り高3・6ミリ、スティンプメーター11・3フィート、コンパクションメーター22に仕上がり、選手のパフォーマンスを十分に発揮できるコンディションを提供できました。

難しいグリーンコンディションの中でも、ハーフをアンダーでラウンドしてきた方が18名。アウトとインの両方をアンダーでラウンドされた方は、ベストスコア賞をとられた小野瀬選手1名ということで、大いに会場を沸かせていました。

最後になりますが、競技開催にあたりまして橋本担当競技委員長をはじめとする関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、参加倶楽部の選手の皆様および関係者・応援団の皆様のご尽力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。（取手国際ゴルフクラブ支配人・富井義明）

決勝進出倶楽部

1位　水戸・ゴルフ・クラブ／447ストローク

2位　水戸グリーンカントリークラブ山方コース／453ストローク

茨城第2会場予選競技

2019年5月14日（火）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：小野瀬 弘記（龍ヶ崎）70
Bクラス：木村 利治（水戸グリーン）71
　　市川 義勝（水戸）71

小野瀬選手

木村選手

市川選手

神田大会会長

取手国際GCの須藤競技委員長（左）と南澤競技委員

盛大な表彰式パーティー。

筑波カントリークラブ

Aクラス:6500Y・P72／Bクラス:6766Y・P72

開場60周年記念の芝生広場の応援ブースが好評

平成の時代に別れを告げ、改元により新しい令和の時代へと足を進めることとなった本年は、昭和34年9月（1959年）に開場した私ども筑波カントリークラブにとっては、開場60周年となる記念すべき年です。

その特別な年に当倶楽部が2019年関東倶楽部対抗茨城第3会場予選競技の会場となることが決まり、大きな喜びと緊張のなかで5月13日の予選開催日を迎えました。

当日は気温18度の晴天に恵まれ、絶好のゴルフ日和の下で19倶楽部から152名の選手をお迎えすることとなりました。フロントの受付開始は6時でしたが、5時半頃から応援ブースに荷物を搬入する倶楽部もあり、キャディーマスター室前には参加倶楽部の旗が掲揚され、倶楽部対抗ならではの独特な雰囲気に筑波カントリークラブ全体が包まれて行きました。

コースコンディションは、グリーンの刈り高3・0㍉、スティンプメーター11・5㌳、コンパクション23・0とやや速めのセッティングとなり、選手の皆様方からは好評価をいただけたように感じておりますが、速いグリーンに苦労された選手もいらっしゃったようです。

応援ブースはクラブハウス正面に今年3月に新たに造成した、芝生広場をご利用いただきました。未だ芝が生え揃わない状況でしたのでやや迷惑をおかけしたものと思いますが、広々としたスペースで各倶楽部の応援団の方々が選手を囲み、会話の花を咲かせ、さらには他倶楽部との交流を深めていただくことが出来たと思っております。

さて、予選結果ですが、扶桑カントリー倶楽部が第1位で今年も決勝大会に駒を進め、土浦カントリー倶楽部が第2位で、決勝大会に進まれることとなりました。

当倶楽部は開催コースの利を生かせず、残念ながら予選通過を果たすことが出来ませんでした。決勝大会に進まれる両倶楽部の方々には存分に実力を発揮され、決勝大会での大活躍をお祈りしております。

最後になりますが、無事に予選競技を開催することが出来ましたのも、参加倶楽部の皆様や関東ゴルフ連盟の競技委員の皆様方のご協力によるものと思っております。この場をお借りして厚く御礼申し上げるとともに、令和の新時代で皆様方がさらなるご活躍をされますことを、心よりお祈り申し上げます。（筑波カントリークラブ支配人・篠原督夫）

開催倶楽部、筑波CCの代表選手と関係者

食堂スタッフも熱い声援。

1位　扶桑カントリー倶楽部／466ストローク

2位　土浦カントリー倶楽部／468ストローク

茨城第3会場予選競技

2019年5月13日（月）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：市村 智（筑波）72

Bクラス：長野 智之（フレンドシップ）73

市村選手

長野選手

草野大会会長

筑波CCの篠原支配人（左）と立花キャプテン

扶桑CCの応援団

HOLE IN ONE

取手桜が丘GCの淀縄選手

狭山ゴルフ・クラブ 西・東コース

埼玉 第1会場予選

Aクラス:6492Y・P72／Bクラス:6897Y・P72

降水量の少ない悪条件を克服し最高の状態に仕上げ

令和元年5月13日(月)に関東倶楽部対抗埼玉第1会場予選競技が、当倶楽部におきまして23倶楽部・138名の選手をお迎えして開催されました。

当倶楽部で予選競技が開催されるのは25年ぶりで、かつ新たな時代の幕開けに相応しい大会とすべく、スタッフ一同緊張感をもってお迎えする準備を進めてまいりました。

特にコースコンディションにおきましては、開催前約1か月は雨の少ない日々が続き芝の状態が心配されましたが、プレーヤーの皆様に楽しんでいただけるようコース管理スタッフが全精力を注いだ結果、当日使用のAグリーンはスティンプメーター12フィート、コンパクション25と、最高の状態の仕上がりとなりました。

さらに16番・17番・18番のピン・ポジションは、2016年の日本オープン選手権競技最終日のセッティングに合わせるなど、選手の皆様が最高のパフォーマンスを発揮できる舞台をご提供することができたと思っております。

競技当日は、朝方は涼しかったもののこの時季に相応しい晴天に恵まれ、穏やかな気候の中、団体戦特有の緊張感と詰めかけた大勢のギャラリーの声援が飛び交う、白熱した試合展開となりました。

熱戦の結果は、優勝の嵐山カントリークラブ、2位の川越カントリークラブ、3位の高根カントリー倶楽部が決勝進出の栄誉を獲得いたしました。決勝大会における大いなるご健闘を心よりお祈り申し上げます。

最後になりますが、参加倶楽部の選手、各倶楽部の関係者の方々、応援いただいた多数のギャラリーの皆様、ならびに本競技開催にあたりご尽力いただきました大会会長・担当競技委員長をはじめとするKGA競技委員の皆様に心より御礼申し上げます。

(狭山ゴルフ・クラブ支配人・綱島邦夫)

開催倶楽部、狭山G・Cの代表選手と関係者

最終3ホールは
'16年日本オープンの
ホールロケーションを再現

決勝進出倶楽部

1位　嵐山カントリークラブ／314ストローク

2位　川越カントリークラブ／319ストローク

3位　高根カントリー倶楽部／319ストローク

埼玉第1会場予選競技

2019年5月13日(月)● 参加倶楽部数：23● 通過倶楽部数：3● 競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場 各クラス上位2名、計4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**

Aクラス：木下 健介(狭山) 73

Bクラス：関澤 誠(嵐山) 75

木下選手

関澤選手

中島大会会長

狭山G・Cの豊田取締役(左)と高水常任理事

埼玉 第2会場予選

岡部チサンカントリークラブ 美里コース

Aクラス：6503Y・P72／Bクラス：6883Y・P72

ホームコースの利を生かし完全優勝を達成

関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選競技として、美里コースにて参加倶楽部23チームで行われました。

開催に向けてスタッフ一同、万全の状態で皆様をお迎えするべく、準備を進めてまいりました。特にコースコンディションにおきましては選手・関係者の皆様に満足いただけるよう、コース管理スタッフが日々コース整備に尽力してまいりました。

競技当日のグリーンコンディションは、コンパクション23、スティンプメーター11・5（フィート）と良好なコンディションとなり、全体の競技結果からも参加倶楽部の選手は、かなり苦労されていたことが推察できます。

競技当日は雨が心配されましたが、天候は曇りのまま最後まで無事に競技を進行することができました。スタートホールには早朝から多くのギャラリーがつめかけ、競技を大いに盛り上げていただきました。また、当会場は初のセルフプレーとなりましたが、選手の皆様の協力のもと、トラブルもなくスムーズな進行となりました。

予選通過の3チームは、1位が岡部チサンカントリークラブ、2位は高坂カントリークラブ、3位はノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場となり、この3チームが決勝進出の栄誉を獲得されました。

岡部チサンチームはホームコースというプレッシャーの中、おかげさまでベストスコア賞をAクラス・Bクラスともに独占する、完全優勝を達成することができました。決勝に進出される倶楽部代表選手のご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

最後になりますが、本競技開催にあたりご尽力いただきました三木征一郎大会会長、桜井担当競技委員長をはじめKGA関係者の皆様、ならびに参加倶楽部の選手、応援いただいたギャラリーの皆様に心より感謝申し上げます。

（岡部チサンカントリークラブ・セールス・渡邊 篤）

距離たっぷり
飛ばし自慢は
全力で挑戦を

決勝 進出倶楽部

1位　岡部チサンカントリークラブ／306ストローク

2位　高坂カントリークラブ／315ストローク

3位　ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場／317ストローク

埼玉第2会場予選競技

2019年5月14日（火）● 参加倶楽部数：23 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場 各クラス上位2名、計4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**

Aクラス：関根 幸一（岡部チサン）73
Bクラス：谷口 幸大（岡部チサン）77
関 茂生（岡部チサン）77

関根選手

谷口選手

関選手

岡部チサンCCの冨田チームキャプテン

三木大会会長

岡部チサンCCの沼尾競技委員長（左）と増野理事長

さいたまGCの清水支配人

千葉
第1会場予選

新千葉カントリー倶楽部
あさぎりコース

Aクラス：6480Y・P72／Bクラス：6350Y・P72

巨匠・上田治氏設計の傑作54ホール…「あさぎり」は競技に実績あり

前日は豪雨、当日は最高のゴルフ日和

令和元年の関東倶楽部対抗千葉第1会場予選が5月22日（水）に、新千葉カントリー倶楽部のあさぎりコースにおいて19倶楽部・152名の参加により開催されました。

一つのクラブハウスで、あさぎりコースの他、つくも・たちばなコースを有し、つくも・たちばなコースでは通常営業を行っている54ホールでの開催ということで、駐車場から練習場・パーティー会場まで、選手と一般プレーヤーとの分離を最優先に考慮いたしました。

幸い、駐車場は約600台収容できるため、臨時の駐車場を設けることなく余裕がありました。選手の昼食はそれぞれのチームが持ち寄る、お弁当をテント内で食べることから、混乱もありませんでした。

指定練習日の週は晴天が続きましたが、週末には鹿児島県の屋久島では50年に一度の豪雨で、登山客の314名が山中に取り残されたとのニュースも流れました。週間天気予報では競技当日と前日の2日間は、雨との予報があり心配でした。競技前日は、午後から雨が強くなり夜半まで降り続き、雨量は52㍉を記録していましたが、競技当日は朝から快晴に恵まれ、バンカー内の水たまりもなく、正午時点での気温は23度、湿度34％、風速3㍍と最高のゴルフ日和となりました。応援する方々も日傘は差すものの、ブレザーを着ていても快適でした。

あさぎりは永く『平尾昌晃チャリティゴルフ』を開催してきたコースであり、設計家の井上誠一氏と並ぶ上田治氏が設計したコースです。フェアウェイはフラットで広く、ベントとコーライの2グリーンですが、グリーンの手前には大きく口をあけたアリソンバンカーが待ち受けており、緩やかな綺麗なマウンドに囲まれたグリーンは花道が狭く、コース内に池がないという特色のあるコースです。

決勝 進出倶楽部

1位　新千葉カントリー倶楽部／455ストローク

2位　千葉カントリークラブ／467ストローク

GK REPORT

新千葉CC
戸村利夫グリーンキーパー

競技前日は52ミリの大雨、当日は絶好のゴルフ日和。早朝にもまだバンカーの排水や修復を続行。グリーン上にも強風による落葉があり、清掃に追われました。グリーンが刈れず、自慢の高速グリーンをお試しいただけませんでした。それでも出場選手やKGA競技委員各位からはお褒めの言葉をいただきました。日頃「自己満足を戒める」を心がけ、お客様目線で判断しています。

千葉第1会場予選競技

2019年5月22日（水）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：伊藤 和久（新千葉）73
Bクラス：塩田 一史（白鳳）75
　　廣田 剛士（山田）75
　　秋山 努（ロイヤルスター）75
　　森田 喜一郎（千葉）75
　　金岡 治久（新千葉）75

菅大会会長

新千葉CCの村松理事長（左）と土屋チームキャプテン

開場から50年を経ても、ゴルフ道具やボールの進化にも負けないことが、Bクラスのベストスコア賞が75ストロークであったことから証明されました。

成績は新千葉カントリー倶楽部が開催コースの強みを発揮し、全員が70台、Aクラスのベストスコア賞に伊藤和久選手の73ストローク、Bクラスに金岡治久選手の75ストローク（5人タイスコア）で、2位の千葉カントリークラブに12ストロークの大差をつけて、予選を通過いたしました。

表彰式では菅大会会長と、開催倶楽部の村松幸男理事長の挨拶に続き、大坪照康社長が乾杯の発声をいたしました。

最後に新千葉カントリー倶楽部の土屋貞雄チームキャプテンが決勝戦での活躍を誓い、他倶楽部からの激励のもと、表彰式は終了いたしました。（新千葉カントリー倶楽部総務部・川崎正則）

1位　藤ヶ谷カントリークラブ／466ストローク

2位　京葉カントリー倶楽部／471ストローク

千葉第2会場予選競技

2019年5月13日（月）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：吉田 義美（藤ヶ谷）72

Bクラス：戸張 智和（藤ヶ谷）71

吉田選手（右）と戸張選手

相馬大会会長

京葉CCの横川理事

京葉CCの瀧波キャプテン（左）と有江支配人

大栄GCの応援団

きみさらずゴルフリンクスの応援団

GK REPORT　京葉CC 深田朝信グリーンキーパー

ハード面の不足があっても、ソフト面で優秀なスタッフが補っています。異常気象の昨今でも、特に注意すべき気象変動があります。今年の梅雨明けの最後の1週間、手抜きせず的確に対処して以後の猛暑に耐えました。自然相手に問われるのは結果のみと、肝に銘じています。

京葉CCの応援団

団が騒く。「これは2位狙いだな」。

気が付けば上がりホールのギャラリーは一杯になっており、決戦の行方を見守っていた。時折り応援団からの歓声も上がり、18ホールの戦いを終えた選手を労っていた。

終盤、まずは藤ヶ谷が1位通過を決める。そして2位通過を開催倶楽部の京葉が決め、スコアボード前に集まった京葉の選手、応援団から大歓声が挙がる。それもそのはず、決勝への切符を初めて掴んだ栄冠だった。

【メッセージ】倶楽部対抗予選は「団体戦」という重圧感や緊張感があり、我々スタッフも同じ気持ちで準備を進めてきた結果、目標のコンディションで選手の皆様を迎えることができたと思っています。

多くの皆様よりお褒めのお言葉をいただき、本当にありがとうございました。

（京葉カントリー倶楽部支配人・有江 豊）

開場60年以上の歴史を刻む
樹木の帯は脱出至難
関東の強豪勢のお手並み拝見

初出場に沸く
京葉CC選手と応援団

千葉 第2会場予選

京葉カントリー倶楽部

Aクラス：6416Y・P72／Bクラス：6705Y・P72

記念すべき年に宿願の「決勝進出」を達成しました！

【当日のコンディション】曇りのち晴れ・気温22度・南の風・微風。タイイグリーン使用（1インチ）。

【地域的な特色・独特の事象】今年、開場60周年を迎える京葉カントリー倶楽部は、窪地に囲まれた台地に位置し、風の通り道となっている。長い歴史とともに大きく育った木々は隣接ホールからの林越えを許さず、その太い枝葉も空間を遮り、プレーヤーを悩ませる。

【当日の展開】天候に恵まれ穏やかな気候の中、各倶楽部の選手がスタートしていく。トップスタートの頃はギャラリーも少なく、文字通り静かなスタートとなった。その静けさとは裏腹に、テントはスタート時刻が遅めの選手と応援団で賑わっていた。

各選手苦戦していたのはグリーン上。コンパクションはそこまでハードな設定ではなかったが、倶楽部対抗に向けて仕上げたグリーンは11フィートの高速グリーンとなり、各倶楽部の代表選手たちを悩ませた。

なかなかスコアが伸びない中、藤ヶ谷が抜け出す。スコアボードに71、72、73という数字が並ぶ。すべて藤ヶ谷のスコアだった。他倶楽部の選手、応援

千葉
第3会場予選

姉ヶ崎カントリー倶楽部 東コース

Aクラス：6503Y・P72／Bクラス：6793Y・P72

「安全、快適そして親善」をモットーに

令和元年5月20日（月）、姉ヶ崎カントリー倶楽部において、2019年関東倶楽部対抗千葉第3会場予選競技が開催されました。

当倶楽部での開催にあたって最も気にかけたことは「安全であること」でした。倶楽部対抗は関東ゴルフ連盟主催の根幹ともいえる競技であり、選手、応援団等多数の方々が入場されますので、駐車場、応援団ブース、コース内の安全に最も気を配りました。

次に大切にしたことは「快適であること」でした。クラブハウス、駐車場、応援団ブースとコースの動線等、ご不満な点もあったとは思いますが、安全を重視し過ぎて快適さを損なってないか検討を重ね、クラブハウス内のご利用制限も最小限にとどめるよう努めました。

無事に競技を終了できましたこと、関東ゴルフ連盟の競技委員をはじめとする関係各位のご尽力に感謝申し上げますとともに、当倶楽部のメンバー様、従業員にも謝意を表したいと思います。

競技結果は、優勝は袖ヶ浦カンツリークラブ、準優勝は姉ヶ崎カントリー倶楽部が入り、6月17日に相模原ゴルフクラブでの決勝競技に出場することとなりました。

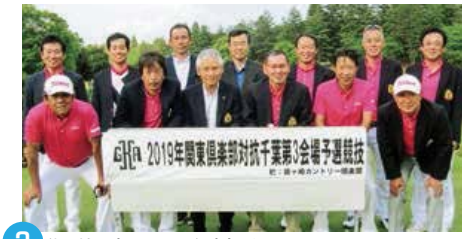
今回開催会場として運営させていただき、改めて強く感じましたことは、倶楽部対抗は倶楽部同士、会員同士の友好、親善を図るうえで大変有意義な競技大会であり、連盟、倶楽部で協力しあい、さらなる継続、発展を願うものであります。

最後にご参加いただきました各倶楽部の選手、応援団の皆様方からのご支援、ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。（姉ヶ崎カントリー倶楽部支配人・牧 博志）

地形を活かしたコース設計の妙で60年近くも新鮮なプレー味

決勝進出倶楽部

1位　袖ヶ浦カンツリークラブ／435ストローク



2位　姉ヶ崎カントリー倶楽部／460ストローク

千葉第3会場予選競技

2019年5月20日（月）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS　ベストスコア賞

Aクラス：和田 博（袖ヶ浦）68

Bクラス：柳澤 信吾（袖ヶ浦）69

姉ヶ崎CCの応援テント

スコアボード前は一喜一憂。

紫カントリークラブすみれコース

千葉 第4会場予選

Aクラス:6522Y・P72 Bクラス:6821Y・P72

ナショナルオープン開催を控え万全の準備

当コースでは2020年に日本オープンゴルフ選手権、2022年に日本女子オープンゴルフ選手権を開催することが決定しており、ここ数年間で練習場の拡張工事、一部ティーイングエリアの拡張工事・林帯の整備、歩経路の舗装工事、また施設関係の美観向上など、様々な個所の改修工事を行っております。

結果、コースの雰囲気が変わったことが各出場倶楽部へ伝わっていたのか、男子倶楽部対抗は3年前の2016年に開催したばかりにも関わらず、指定練習日以外にも多くの倶楽部代表選手が練習に来場されておりました。

また当倶楽部では初めて倶楽部対抗を経験するスタッフも多く、キャプテン会議やキャディーへの指導、競技までの流れやギャラリー対応などの対策に関して、スタッフ総出で準備してまいりました。

さて、コースセッティングですが、グリーンスピード10・5フィート、コンパクション23とバッティンググリーンは状態よく仕上がりましたが、フェアウェイの一部が冬場の乾燥により、満足いく仕上がりではありませんでした。

しかし、参加された19倶楽部・152名の選手の皆様は、楽しげにプレーされていた姿がとても印象的でした。

競技結果は平川CCが468ストロークと、2位の鶴舞CCに12ストロークの差をつけて優勝し、平川CCと鶴舞CCの2倶楽部が決勝進出となりました。

当倶楽部は残念ながら6位でしたが、Bクラスの岡安映昌選手が70（35・35）ストロークでラウンドし、ベストグロスで表彰されました。またAクラスの佐伯輝夫選手は11番パー3でなんとホールインワンを達成され、開催倶楽部として盛り上がりました。来年参加する選手達の希望に繋がりました。

当日は大きなトラブルもなく、無事に開催倶楽部としての役割りを果たせたことにつき、携わって下さった山口担当競技委員長や競技委員の方々、また運営に協力いただいた当倶楽部会員様の皆様には、改めて感謝申し上げます。

そして、今後も競技がますます盛んになることをお祈りいたします。

（紫カントリークラブすみれコース副支配人・中村昭広）

Aクラスのベストグロス賞廣部選手（左）と
露木選手（右）

Bクラスのベストグロス賞の岡安選手

決勝 進出倶楽部

1位　平川カントリークラブ／468ストローク

2位　鶴舞カントリー倶楽部／480ストローク

千葉第4会場予選競技

2019年5月14日（火）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：廣部 清隆（館山）75
　　露木 実（平川）75
Bクラス：岡安 映昌（紫）70

紫CCすみれの藤巻常任理事（左）と
遅塚理事長

渡邉大会会長

改造後も気品を保つ日本美溢れるコース

紫CCすみれの女性応援団

HOLE IN ONE
ホールインワン達成の佐伯選手（左）と
Bクラスベストグロス賞の岡安選手

開催倶楽部、紫CCすみれの代表選手と関係者

相武カントリー倶楽部

Aクラス：6200Y・P72／Bクラス：6425Y・P72

社員総出の整備作業で絶好の状態で競技当日へ

多摩丘陵の自然な起伏に
武蔵野の樹林が映える
コースは戦略的で変化に富む

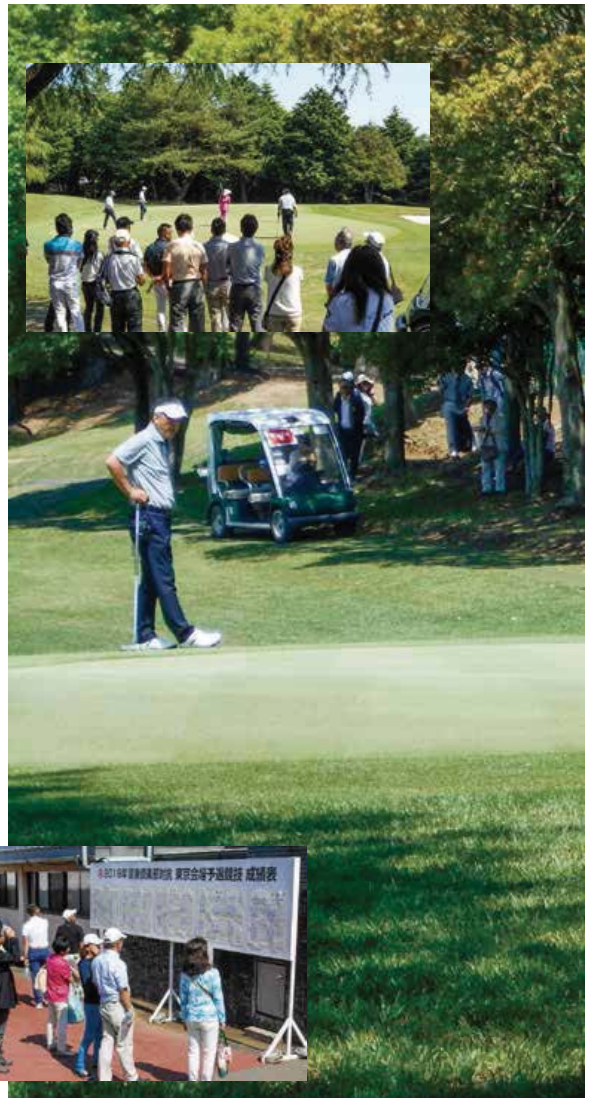
開催倶楽部、相武CCの
代表選手と関係者

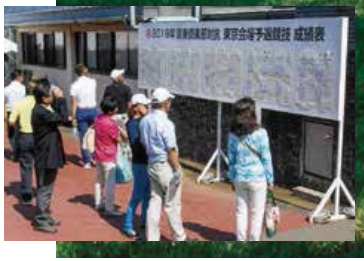
2019年5月24日（金）、相武カントリー倶楽部は、令和最初の倶楽部対抗東京会場予選競技の開催コースとして14倶楽部をお迎えし、最高気温32度と高暑真夏日の中、開催させていただきました。

前回開催の2007年は豪雨での開催でしたが、今回は快晴、絶好のゴルフ日和となりました。コース状態は当倶楽部の高橋キーパーを始め、当倶楽部スタッフや同グループの近隣コースからの応援スタッフによる努力もあり、非常に良い状態となりました。

開催日の3日前にかなりの豪雨があったものの、グリーンの刈り高3・5㍉、スティンプメーター8・5という状態で競技を迎えることが出来ました。競技自体は個人戦とは違い、「昨日の敵が今日の味方」という一味違った醍醐味を味わえます。

さすがに各倶楽部を代表されている選手たちということで、責任とプライドをかけて各組とも1打ごとに誇りを持って熾烈な争いを展開。さらにチームとして励ましあい、熱い応援もあり、団体戦ならではの醍醐味も感じ取ることができました。





真夏日に近い暑さの中、13時頃からトップスタートの組がホールアウトしはじめ、16時30分には全員がホールアウトし無事に競技を終了することができました。

当倶楽部は残念ながら14倶楽部中4位と、大変惜しい成績で残念ながら決勝に進出することはできませんでした。

当日は各倶楽部の選手の皆様、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。また、当倶楽部会員の皆様、多大なご声援、ありがとうございました。

最後に、本競技を無事に終了でき、KGA競技委員の方々と各出場倶楽部の関係者の皆様に感謝するとともに、ご支援ご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

（相武カントリー倶楽部支配人・吉井 誠）

決勝進出倶楽部

1位　東京国際ゴルフ倶楽部／452ストローク

2位　武蔵野ゴルフクラブ／465ストローク

東京会場予選競技

2019年5月24日（金）● 参加倶楽部数：14 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場 各クラス上位3名、計6名の合計スコア

BS ベストスコア賞

Aクラス：永井 英輔（東京国際）68
Bクラス：伊藤 泰介（立川国際）72

永井選手

伊藤選手

佐藤大会会長

相武CCの
山崎理事長

相武CC代表選手と関係者揃ってのお見送り。

神奈川
会場予選

横浜カントリークラブ 西コース

Aクラス：6377Y・P71／Bクラス：6752Y・P71

クーア&クレンショーの改造は時代の要求に応えて21世紀の主流に

豪雨による2時間半の中断も乗り越えて競技成立！

開催倶楽部、横浜CCの代表選手と関係者

5月14日（火）、当倶楽部西コースにおいて、神奈川県内28倶楽部・112名の参加により開催されました。

当倶楽部での倶楽部対抗競技における直近での開催は、2017年に行われた関東倶楽部対抗神奈川会場予選競技となります。

本競技の舞台となりました西コースは、2016年9月に米国のコース設計事務所『クーア&クレンショー』により改修を終え、昨年10月に日本オープンを開催したコースです。

西コースは本競技を迎えるにあたり、日本オープンを終えた後も引き続きコース管理課をはじめ、スタッフ一同全力で整備にあたりました。

開催当日はグリーンスピード10・3（フィート）、コンパクション23の状態に仕上げることができました。

当日は朝から激しい雷雨に見舞われ、7時40分から10時10分までの間、中断を余儀なくされました。日没が懸念されましたが、競技の成立が危ぶまれましたが、競技委員会による競技ルールの変更が速やかに行われ、無事に競技を成立することができました。

なお、1週間後に空けておいた予備日については稀にみる大雨となり、5月14日（火）に競技を成立させた競技委員会の裁定は、素晴らしい判断であったと思われます。

競技成績は1位が戸塚カントリー倶楽部、2位は東名厚木カントリークラブの3倶楽部が、6月17日（月）相模原ゴルフクラブ東・西コースで開催される決勝への出場権を獲得いたしました。

当倶楽部は残念ながら5位となり、3年連続予選通過を果たすことができませんでしたが、参加した選手たちの健闘を心から讃えたいと思います。

最後になりますが、本競技開催にあたりましては関東ゴルフ連盟濱口大会会長、萩原担当競技委員長、競技委員、運営関係者の方々、ならびに参加倶楽部の選手、応援いただいたギャラリーの皆様に、心より感謝申し上げます。

（横浜カントリークラブ常務取締役支配人・酒井佳之）

最高のグリーン・コンディション

決勝進出倶楽部

1位　戸塚カントリー倶楽部／319ストローク

2位　東名厚木カントリー倶楽部／321ストローク

3位　秦野カントリークラブ／325ストローク

神奈川会場予選競技

2019年5月14日（火）● 参加倶楽部数：28 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：※悪天候のためA・B両クラス2名、計4名の合計スコアにより順位を決定なお、選手全員が18ホール終了していないためベストスコア賞の表彰は無しとする。

濱口大会会長

横浜CCの相山理事長（左）と樋田キャプテン

1位　東名カントリークラブ／302ストローク

2位　フジ天城ゴルフ倶楽部／306ストローク

3位　伊東カントリークラブ／307ストローク

静岡会場予選競技

2019年5月13日（月）● 参加倶楽部数：29 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：Aクラス3名、Bクラス3名出場 各クラス上位2名、計4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**

Aクラス：佐々木 清士（葛城）72
Bクラス：菊地 展弘（フジ天城）73

佐々木選手

菊地選手

木村大会会長

伊豆にらやまCCの応援団

東名CCの応援団

フジ天城GCの応援団

静岡 会場予選

東名カントリークラブ 愛鷹・桃園コース

Aクラス:6371Y・P72／Bクラス:6884Y・P72

開場50周年記念事業の全面コース改造が高い評価

全27ホール
ワングリーン化完成
堂々の国際基準に

競技当日の朝から曇りの空模様が心配でしたが、スタート時間の7時には薄日が差し一安心。スタート時の気温は17・6度、東南東の風3㍍と絶好のコンディションでした。

この日は最高気温が22度の予報のなか、29倶楽部・174名の選手による競技は順調に進行しました。

当日のグリーンコンディションは、ベントグリーン3・6㍉、シングルカット、スティンプメーター10・4フィート、コンパクション22・5。

当倶楽部は平成19年（2007年）から、コース設計家・故加藤俊輔氏の監修のもと、ベント2グリーンから1グリーンへの改修に着手し、昨年27ホールの1グリーン化が完成、昨年9月には開場50周年を迎えました。

1グリーン化されたグリーンは面積が大きくなり、大きなうねりの中に細かなアンジュレーションが入り組んで、読みにくい面白いグリーンになりました。

従来の2グリーンは、富士山から駿河湾に向かって順目というセオリーだったのですが、順目・逆目ともにアンジュレーションが組み合わさり、難しい読みを要求されるグリーンが攻略ポイントとなったと思われます。

競技結果は開催コースの東名カントリークラブが優勝、2位のフジ天城ゴルフ倶楽部、3位の伊東カントリークラブとともに決勝進出となりました。

表彰式は倶楽部ジャケットをまとった選手・関係者が一堂に会し、お互いの健闘を讃え合い和気あいあいに進行しました。

最後に、決勝に進出した3倶楽部へエールを送り、静岡会場予選競技の長い一日に幕を下ろしました。

（東名カントリークラブ支配人・大池誠実）

FAIRWAY C OLLECTION

2019年関東女子倶楽部対抗
①〜㊱位順位

霞台CCの珍しい親子選手です。
⑪で紹介したウェアはギャラリー用。
選手はこちらの緑。

① 東千葉CC
② 鹿沼 CC
③ 湯田上CC
④ 富里GC
⑤ 成田東CC
⑥ 総武CC
⑦ 紫雲 GC
⑧ 中央道晴ヶ峰CC
⑨ 石坂GC
⑩ 扶桑CC
⑪ 霞台CC
⑫ 大寒野CC
⑬ 湘南シーサイドCC
⑭ 都留CC
⑮ 東名厚木CC
⑯ 穂高CC
⑰ カレドニアン・GC
⑱ 皆川城CC
⑲ ニュー・セントアンドリュースGC
⑳ 富士宮GC
㉑ 千葉夷隅GC
㉒ 岡部チサンCC
㉓ 筑波CC
㉔ 八幡 CC
㉕ サンコー72CC
㉖ 霞ヶ関CC
㉗ 河口湖CC
㉘ 青梅GC
㉙ 日高CC
㉚ 東京五日市CC
㉛ 赤城GC
㉜ メイプルポイントGC
㉝ ニッソーCC
㉞ 米山水源CC
㉟ 那須GC
㊱ 水戸・G・C

決勝競技

メイプルポイントゴルフクラブ（山梨県）

5723Y・P72

10回目の記念大会も千葉勢の強さが際立つ

いわゆる〝働き方改革〟で会社員の残業が減り、小遣いも減らされて意気上がらない男性たち。そんな世相とは裏腹に、ゴルフをやるシニア女性はとても元気に見える。

2012年創設の関東女子シニアゴルフ選手権（50歳以上）は、今年で8回目の開催となる。2017年創設の関東女子グランドシニアゴルフ選手権（60歳以上）は、今年が3回目の開催。両競技とも参加者が増えて、順調に推移している。

関東女子倶楽部対抗は女子シニア選手の要望に応えて、10年前にスタートした。女子の団体戦もまた毎年、参加者や出場倶楽部がともに増えている。関東女子倶楽部対抗の隆盛の原動力に、女子シニアゴルファーのバックアップが効いているのは間違いないだろう。

創設10周年を機に、内藤KGA競技委員長に10年間を振り返っていただいた。

「競技の創設には、まず規則（ルール、精神など）の制定で多くの議論を費やしました。その中で〝50歳以上の選手をチームに加える〟という決め事はユニークで、結果、これが成功の要因でしょう」

倶楽部対抗

関東女子

関東女子倶楽部対抗決勝競技

2019年8月2日（金）● 参加倶楽部数：36 ● 出場選手：143名 ● 競技方法：50歳以上の選手2名以上含め（※同予選競技）4名出場 上位3名の合計スコア

山梨の里山に果物が実ったかのオレンジ集団。開催倶楽部、メイプルポイントGCチームの温かいホスピタリティーが随所で目立っていた。

撮影・塚越克一KGA広報副委員長、大竹 茂KGA広報委員、久保田昌幸KGA広報委員

勝ち負けに加えて選手同士の「親睦」にこそ団体戦の意義あり

倶楽部対抗が人気を集める理由は「チーム戦は面白い」と、参加者全員が口を揃えて言うことに尽きる。「チームのため、仲間のため」に戦うから面白い。

内藤委員長は、世界アマやアジアアマ（現・野村カップ）で、日本代表として団体戦を戦ってきた。その時、忘れられない先輩の訓えがあると言う。

「チームのために〝勇気あるボギー〟を打て〟と言われました。団体戦の4日間競技では、致命傷となるダボやトリプルボギーがある。その大きなミスを避けるために、小さなミスで止めることです」

1打の重みこそ〝勇気あるボギー〟だろう。この貴重な経験を味わえるのは代表選手だけなのだ。

優勝の東千葉CCは選手名をプリントした団扇を自作。

ひときわ目立ったのが八幡CCのストライプシャツ（カッパーウェア）で、メンズはボタンダウン、レディースはブラウス。男女の区別なく「ALL FOR ONE」。

日傘とサングラスは真夏のラウンドの必需品。携帯の小型扇風機も流行中。

優勝　東千葉カントリークラブ／228ストローク

2位　鹿沼カントリー倶楽部／231ストローク

3位　湯田上カントリークラブ／231ストローク

4位　富里ゴルフ倶楽部／232ストローク

5位　成田東カントリークラブ／236ストローク

作。〝山のリンクス〟とも評されたが、岩盤地質のために排水設計に苦労したそうだ。

その難しいコースで、まさかアンダーが記録されるとは想像もしていなかった。

昨年優勝の東千葉CCのエース、黒木蘭選手が上がって、開口一番「難しかったー。難しいほどファイトで集中できます。私を超えるMVPは出ないでしょう」と、チームの優勝までも確信したようだ。

ちなみに黒木選手と同組の増田京子選手（筑波CC）は、関東女子グランドシニアの初代チャンピオン。

強豪・成田東CCキャプテンの小川美恵子選手は、昨年はまさかの予選落ち。

この2人の名選手の、それぞれの初優勝時の号泣が忘れられない。感動は周囲に伝染するようだ。（取材・文　堺）

MVP　最優秀選手賞
黒木 蘭（東千葉）71

黒木選手

池谷大会会長

メイプルポイントGCの熊崎理事長

当日の競技速報はKGAホームページへアクセス！

MEMO　天候：晴れ　気温：33.2度　風向：北東　風速：2.4m/s

「チーム戦になると寝られないし食べられないし、本当に苦しいんです。スイスのローザンヌでの世界アマで、準優勝の日の丸が掲揚されました。それを見た瞬間、苦しさとか悔しさなどの感情がすべて消えて、ただ感動だけがあったんです。それは倶楽部対抗戦で、我が倶楽部の旗を見ても同じ感情でしょう」

内藤競技委員長は多忙で、15分ほどのインタビューをお願いした。やがて関東女子倶楽部対抗の選手が徐々にホールアウトしだし、集計が慌ただしくなった。

会場のメイプルポイントGCは、コース設計家自ら重機を操って造成する〝現場主義〟の鬼才、ピート・ダイ氏の傑

内藤競技委員長

ラスト近く、2位が確定した鹿沼CCの選手の喜びが爆発。

外観は同じでもリチウムイオン電池搭載の新型乗用カートは快適。

TEAM YONEYAMA SUIGEN

左から、小池キャプテン、冨田、前澤、小菅、栗栖の各選手

「水源」.....
ドラマチックな池たちが
美しさと戦略性の彩を奏でている

霊峰米山をバックに池越えの４番パー３ホール。

新潟 会場予選

米山水源カントリークラブ

5539Y・P72

設計家の意匠を楽しみ選手は技量を存分に発揮

令和元年６月７日（金）、米山水源カントリークラブにおいて17倶楽部・85名の女子出場選手を迎えて開催されました。

50年前、世界五大外国人設計者Ｊ・マイケル・ポーレット氏から「日本にもイギリスに負けないリンクスコースを作りたい」という一報が当時、日本オープンを制しプロゴルフ界トップに君臨していた杉本英世プロ（米山水源ＣＣ理事長）へ、連絡が入りました。

外国人設計者ならではの「まず第一に水はけの良いコース」というコンセプトでスタートし、ラフのコブ群をもっと緩やかにと杉本理事長のアドバイスも加わり、無類の水はけの良いコースが誕生したのは１９７３年のこと。

昭和、平成を経て、令和最初の大会でその威力が発揮され、雨中でも抜群のコンディションでプレーができたのも、マイケルからのメッセージではないでしょうか。

日中、雨が上がった時には霊峰米山も顔を出し、新潟美人ゴルファーのプレーを見守っていました。

令和という新時代に入り、米山水源ではＣＯ$_2$排出ゼロの、環境に優しいリチウムイオン乗用カートを国内で初めて導入し、選手をサポート。

酒処をイメージした目土箱ならぬ、酒樽で造った〝目土樽〟も登場するユーモアあるコースとなっております。

競技前日まで、米山水源スタッフは部署ごとに３つのホールを担当し、目土作業に専念しました。フェアな条件を提供したいというこの想いは、選手の皆様に届いたのではないでしょうか。料理スタッフも参加しましたが、料理人は調理も目土作業も上手かったそうです。（笑）

表彰式は高頭大会会長、杉本理事長と名司会者との絶妙なトークで盛り上がりました。選手の皆様の華やかなプレーで彩られた競技は盛大に、そして何より無事終了いたしました。

令和の時代もこの関東女子倶楽部対抗が益々繁栄してゆくことを願いまして、競技関係者、各倶楽部の皆様への御礼を申し上げるとともに、ゴルフ業界がもっともっと活性化されますよう夢描いております。倶楽部対抗ばんざ～い！（米山水源カントリークラブ支配人・愛澤英樹）

決勝 進出倶楽部

1位　紫雲ゴルフ倶楽部／315ストローク

2位　湯田上カントリークラブ／320ストローク

3位　米山水源カントリークラブ／337ストローク

新潟会場予選競技

2019年6月7日（金）● 参加倶楽部数：17 ● 予選通過倶楽部数：3 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
田村 幸子（紫雲）76
高野 祐子（ヨネックス）76

米山水源CCの杉本理事長

田村選手

高野選手

高頭大会会長

塩嶺カントリークラブ しらかば・りんどうコース

長野 会場予選

5615Y・P72

標高1000メートルの高原に冷たい雨、でも選手は健闘

2019年6月7日(金)、OUT(しらかばコース)・IN(りんどうコース)にて長野会場予選競技が13倶楽部・74名の選手が参加して開催されました。

当倶楽部は昭和48年に開場し、47周年を迎えます。設計者は上田治で『東の井上誠一』と並び『西の上田治』と称される、日本を代表するゴルフ設計家。手掛けたコースは西日本を中心に50コース以上。豪快でダイナミックな作風で知られており、砦のような砲台グリーンが特徴です。

2014年に関東倶楽部対抗長野会場予選競技を開催した経験を活かして、今回は女子の大会会場をお引き受けしました。

コース整備においては、修理地をなくすために、芝張り作業を重点的に行いましたが、ゴールデンウィーク頃から30度以上の晴天が連日続くなど、降水量が少なく芝の生育が今一歩の感がありました。本来ならば散水を多めにしたいところでしたが、当日は雨予報もあり悩ましい日々が続きましたが、できる準備は行ったつもりです。

当日は昼頃からの雨予報でしたが、スタートした8時頃から雨が降り出す、あいにくの天候の中で行われました。当倶楽部場は標高1000メートルほどにあるため、この時期はまだまだ寒く、冷たい雨に濡れる中での競技となりました。

開催倶楽部、塩嶺CCの代表選手と関係者

雨中のスタート

芝の上から打てます！

そんな厳し状況の中で、各選手の皆様は日ごろの練習の成果を発揮し、団体戦独特の緊張感漂う中、奮闘されました。

昼過ぎころから選手が上がり始め、スコアボードにスコアが記入されると、食い入るように戦況を見守る姿が見られました。そして、穂高カントリークラブ、中央道晴ヶ峰カントリークラブが見事予選通過となりました。決勝大会でのご活躍を祈念しております。

今回の競技開催に際し、ご指導いただいた大橋担当競技委員長、並びに競技委員の皆様、応援いただいたキャディーの皆様、また、協力いただいた関係各位、各倶楽部の事務局、選手の皆様のお蔭をもちまして、無事に大会を終えることが出来ました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

（塩嶺カントリークラブ支配人・村上富雄）

しらかば9番ホール

決勝進出倶楽部

1位　穂高カントリークラブ／325ストローク

2位　中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部／326ストローク

長野会場予選競技

2019年6月7日(金)●参加倶楽部数：13●予選通過倶楽部数：2●競技方法：6名出場、上位4名の合計スコア

BS　**ベストスコア賞**
森谷 聡子(穂高) 75

春日居ゴルフ倶楽部

5457Y・P72

新緑の季節に絶好のゴルフ日和は最高の「おもてなし」

山梨 会場予選

2019年ゴルフ規則にも馴れてスムーズな進行。

関東女子倶楽部対抗山梨会場予選競技が、令和元年6月4日㈫に当倶楽部において、参加11倶楽部・66名により開催されました。

例年ですと梅雨入り前の、むずかしい天候になりがちな季節となりますが、当日は快晴・気温24度の中、時折り沢風のそよぐ最高のコンディションで開催されました。

早朝より各倶楽部の応援団がかけつけ、各倶楽部一丸となった倶楽部対抗特有な雰囲気の中、8時ティーオフのトップスタートから応援団の見守る緊張感の中、スタートしていきました。

春先より倶楽部競技が毎週のように開催されるなかで、コース課スタッフは2日前に開催された倶楽部選手権決勝とこの大会に合わせて、コースコンディションに細心の注意を払い仕上げてまいりました。結果、選手からはグリーンをはじめコースについてお褒めの言葉もいただきました。

各選手がホールアウトする、あがりホールではギャラリーの声援もあり、大変な盛り上がりのなか、成績表が記入されるたびに選手・応援団から、どよめきと歓声があがりました。

競技の結果は都留カントリー倶楽部が328ストロークで第1位通過、第2位は343ストロークで河口湖カントリークラブ、以上2倶楽部が決勝に進むこととなりました。

ベストスコア賞は優勝した都留カントリー倶楽部の平林治子選手が74ストロークで獲得いたしました。

最後に予選競技を迎えるにあたり、関東ゴルフ連盟の競技担当委員長をはじめ関係各位の皆様に、ご指導いただき無事に終了できましたこと、心より御礼申し上げますとともに、これからもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

（春日居ゴルフ倶楽部管理部・須藤秀明）

野鳥の楽園
ゴルファーのオアシス
遠景には富士山も

GK REPORT

春日居GC
横森正敏グリーンキーパー

本競技に合わせて様々な作業を行い、競技当日は10.5フィート以上のグリーンを提供することができました。疲労感はありましたが、競技が無事に成功し、選手や関係者の笑顔を見られたとき、その疲労感は達成感や満足感に変わり、私自身、とても貴重な良い経験をさせていただきました。

開催倶楽部、春日居GCの代表選手

手づくりグッズでの応援が楽しい。

決勝進出倶楽部

1位　都留カントリー倶楽部／328ストローク

2位　河口湖カントリークラブ／343ストローク

山梨会場予選競技

2019年6月4日（火）● 参加倶楽部数：11 ● 予選通過倶楽部数：2 ● 競技方法：6名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
平林 治子（都留）74

平林選手

大工原大会会長

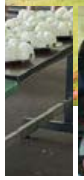
群馬
会場予選

グリーンパークカントリークラブ
東・西コース

5458Y・P72

悪天候による一時中断も参加者全員の熱意で続行

貫井理事長自ら設計 コース愛の精神で 堂々たる27ホールに



2019年関東女子倶楽部対抗群馬会場予選競技は、6月7日（金）にグリーンパークカントリークラブにて開催されました。

当倶楽部は標高平均300㍍、藤岡市の丘陵地帯に位置し、平成2年に東・西・南コースの27ホールで開場いたしました。本競技は池を多く配した美しさの中にも難易度の高い東コース、牛伏山を眺めながら起伏に富んだ西コースの18ホールが使用されました。

当日は早朝より曇天の空模様となり、昼頃からの大雨も予想されたため、競技開始20分前に、急遽キャプテン会議を開催。競技委員会の判断で、スループレーに変更となりました。

第1組スタート直後から降雨となり、午前には一時大雨による中断もありました。それでも選手の皆様には動揺も見られず、例年のとおり各倶楽部からの賑やかな応援の中、ご参加いただいた16倶楽部・79選手が全員無事にホールアウトし、安堵いたしました。

結果、第1位はサンコー72カントリークラブで、倶楽部初の快挙と喜んでおられました。同倶楽部代表の鈴木咲良選手が73ストロークという素晴らしい成績で、ベストスコア賞を獲得されました。第2位は、昨年と同順位で赤城ゴルフ倶楽部が入賞。以上の2倶楽部が決勝大会に進出されました。群馬県代表倶楽部として、8月のメイプルポイントゴルフクラブにおいて、ご活躍されますよう祈念いたします。我が倶楽部チームは第3位と、惜しくも決勝進出はなりませんでしたが、来年こそと選手は大いに盛り上がりました。

最後になりますが、寺本大会会長をはじめ関東ゴルフ連盟の皆様、選手各位と応援の倶楽部関係者の皆様に御礼申し上げます。

また、本競技開催において準備段階よりご尽力いただきました黒野担当競技委員長をはじめ、競技委員の皆様には荒天にもかかわらず、素晴らしいチームワークで円滑に運営していただきました。心より感謝申し上げます。

（グリーンパークカントリークラブ 支配人・貫井保芳）

開催倶楽部、グリーンパークCCの代表選手と関係者

決勝 進出倶楽部

1位　サンコー72カントリークラブ／314ストローク

2位　赤城ゴルフ倶楽部／325ストローク

群馬会場予選競技

2019年6月7日（金）● 参加倶楽部数：16 ● 予選通過倶楽部数：2 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
鈴木 咲良（サンコー72）73

鈴木選手

寺本大会会長

グリーンパークCCの貫井理事長（左）と白岩理事

スコア集計を終え笑顔の記念撮影。

那須ゴルフ倶楽部

550ヤ・P72

山の傾斜を解消する〝井上マジック〟に感動

昭和11年完成の
手作り（マンメイド）コース
まさに大地の彫刻だ

那須ゴルフ倶楽部は栃木県の北部、那須連山を眼前に望み、その裾野にコースを構えております。井上誠一氏設計の巧みな技で自然を活かしたコースは、季節の移り変わる様も美しく、その高い完成度で訪れるプレーヤーに深い満足を与えております。

令和元年6月4日、那須ゴルフ倶楽部にて関東女子倶楽部対抗栃木会場予選競技が、木々の新緑が彩る中、24倶楽部・120名のご参加で開催されました。

当日は職員の懸命な準備をもちまして、万全の受け入れ体制を整えて皆様をお迎えいたしました。朝のうち当地特有の濃い霧がコースを覆い、競技開催が危ぶまれるほどでしたが、スタートが近づくにつれ霧も晴れていき、スタート時にはうって変わっての快晴となり、安堵とともに選手をお見送りすることができました。

たくさんのギャラリー、応援者の皆様の見守る中で熱い戦いが繰り広げられ、競技は大きな問題も起きず順調に進みました。競技後半ともなるとスコアボードの周りでは刻々と変わる順位に選手、ギャラリーが注目しておられました。

競技の結果は鹿沼カントリー倶楽部が311ストロークで1位。ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパンが324ストロークで2位。開催倶楽部であります那須ゴルフ倶楽部が326ストロークで3位。皆川城カントリークラブが329ストロークで4位となり、上位4倶楽部が決勝の地へ赴くこととなりました。

華麗な技で見事決勝に進まれた選手の皆様と、開催倶楽部の矜持を保った当倶楽部の選手の皆様には、決勝大会でのさらなるご活躍を祈念いたします。

関東ゴルフ連盟の松本大会会長ならびに浜島担当競技委員長、競技委員の皆様をはじめ、参加倶楽部の選手・関係各位、そして競技会開催のためご尽力いただきましたすべての皆様のおかげをもちまして無事終了に至ることが出来ましたこと、深く感謝いたしますとともに、心より御礼申し上げます。

（那須ゴルフ倶楽部支配人・髙橋克也）

1位　鹿沼カントリー倶楽部／311ストローク

2位　ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン／324ストローク

3位　那須ゴルフ倶楽部／326ストローク

4位　皆川城カントリークラブ／329ストローク

松本大会会長

那須GCの松井理事長（左）と宮田キャプテン

HOLE IN ONE

ホールインワンを
達成した菓子田選手
（皐月GC鹿沼）

栃木会場予選競技

2019年6月4日（火）● 参加倶楽部数：24 ● 予選通過倶楽部数：4 ● 競技方法:5名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
小森 幸恵
（ニュー・セント
アンドリュース）75
鈴木 郁子（鹿沼）75

小森選手

鈴木選手

茨城 会場予選

ゴルフ5カントリーサニーフィールド

5567Y・P72

ティーから戦略的要素を全て視認できる

ニクラウス氏設計は飽きない 回るたびに新鮮な 挑戦テーマを発見するから

開催倶楽部、ゴルフ5カントリーサニーフィールドの代表選手と関係者

令和元年6月4日（火）、関東女子倶楽部対抗茨城会場予選競技が当倶楽部におきまして、県内30倶楽部・150名の参加で開催されました。

当倶楽部はJ・ニクラウス氏の設計により昭和62年に開場し、本年で32周年を迎えます。ティーイングエリアからIP・グリーン・すべてのハザードが見えるように配されていますが、ニクラウス氏の設計理念であります。

KGA主催競技としては昨年、男子予選競技を開催。本年は女子予選競技と、2年連続で開催されますことは大変名誉なことであると感謝申し上げます。

また、競技委員の皆様からご指導いただきながら、本競技の成功に向けコースメンテナンスの準備を進めてまいりました。当日のグリーンコンディションはコンパクション23、スティンプメーター9・5フィートのセッティングに仕上がり、良い状態で開催出来たと思っております。

また、当日は晴天にも恵まれ、女性ならではの華やかな装いと、団体戦特有の緊張感漂う中、詰めかけた大勢の応援と声援により選手たちは元気にスタートして行きました。

昼頃から選手が上がり始め、最終組に近づくにつれて他コースのスコアが気になり始め、ボードにスコアが記入される度に、歓声と溜息に包まれておりました。

見事、予選通過したニッソーカントリークラブ、扶桑カントリー倶楽部、霞台カントリークラブ、水戸・ゴルフ・クラブ、筑波カントリークラブには、決勝の舞台でのご活躍を祈念しております。

最後に、本競技開催にご尽力いただきました海老原大会会長をはじめKGA役員、委員の皆様、参加倶楽部選手並びに関係者の皆様方のご支援ご協力により、無事に競技を終了できましたことを心より御礼申し上げます。

（ゴルフ5カントリーサニーフィールド支配人・平野誠士）

霞台CCの応援団

茨城会場予選競技

2019年6月4日（火）● 参加倶楽部数：30 ● 予選通過倶楽部数：5 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

BS ベストスコア賞

沓澤 良子（江戸崎）70
落合美詠子（ニッソー）70

沓澤選手

落合選手

海老原大会会長

ゴルフ5カントリーの今井キャプテン

決勝 進出倶楽部

1位　ニッソーカントリークラブ／310ストローク

2位　扶桑カントリー倶楽部／310ストローク

3位　霞台カントリークラブ／317ストローク

4位　水戸・ゴルフ・クラブ／320ストローク

5位　筑波カントリークラブ／321ストローク

埼玉 会場予選

武蔵松山カントリークラブ

5656Y・P72

地元・新井規矩雄プロの設計・監修で「武蔵国」の魅力を表現

近隣の応援キャディーさんの協力に大感謝です

関東倶楽部対抗競技（男子）は2006年・2016年の2回開催しておりますが、今回初めて関東女子倶楽部対抗を開催いたしました。2020年オリンピックを前に、本競技のような大会を開催することができ、大変光栄なことと思っております。

当初、お引き受けするに当たりまず困ったのは、30名いたキャディーが25名となってしまい、セルフプレーでの開催を考えてしまいました。

ただ せっかく開催するのならキャディー付きにしたらどうかという意見があり、近隣倶楽部にお願いしたところ、快くお借りすることが出来ました。

そのお借りしたキャディーさんのプロ意識が凄く、週2回視察して残り距離、グリーンの形状、コースの危険箇所など隅々まで勉強していただきました。

お陰様で今回はキャディーについてのクレームはなく、心配された天気も晴天に恵まれ無事終了することが出来ました。応援いただきましたキャディーさんには、この場をお借りし厚く・厚く御礼申し上げたいと思います。

ただ今回、駐車場を選手・ギャラリーを含め340台と見込み準備いたしましたが、当日は天候に恵まれたこともあり、朝早くから来場されたお客様が多く駐車場が足りず、最後は少しお待ちいただき練習場に駐車することが出来ましたが、皆様にご迷惑をお掛けしてしまいました。

ギャラリー広場は前回と同様、カート庫を利用したためスペースも広くとれ、ギャラリーの方には評判が良かったようです。

今年は例年に比べ雨量が少なく、コースメンテナンスでは毎日散水を余儀なくされました。その他、本競技に合わせてコース管理スタッフ一丸となり、グリーン、フェアウェイを仕上げましたが、昨年の夏の後遺症があり、フェアウェイの一部張り替えた部分が修理地となってしまったことが残念でした。

ただ、当日のグリーンは最高に仕上がり、選手の皆様からお褒めの言葉をいただきました。

そんな中、見事優勝した石坂ゴルフ倶楽部、次いで霞ヶ関カンツリー倶楽部、日高カントリークラブ、岡部チサンカントリークラブの4倶楽部が、8月2日（金）のメイプルポイントゴルフクラブで開催される決勝進出を果たされましたが、埼玉代表としてご健闘いただきたいと思います。

最後になりますが今大会を開催するにあたり、当倶楽部のスタッフはもちろん、会員の皆様や関東ゴルフ連盟関係各位のご指導、ご協力ならびに応援いただきました鳩山カントリークラブ、越生ゴルフクラブ、川越カントリークラブのキャディーさんのお力添えがあり、競技を大過なく終了することが出来ましたこと、開催倶楽部を代表して厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

（武蔵松山カントリークラブ常務取締役支配人・関口伸一）

決勝進出倶楽部

1位　石坂ゴルフ倶楽部／316ストローク

2位　霞ヶ関カンツリー倶楽部／324ストローク

3位　日高カントリークラブ／324ストローク

4位　岡部チサンカントリークラブ／325ストローク

埼玉会場予選競技

2019年6月3日（月）● 参加倶楽部数：26 ● 予選通過倶楽部数：4 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

吉田大会会長

武蔵松山の
梅田競技委員長

開催倶楽部、武蔵松山CCの代表選手と関係者

BS **ベストスコア賞**
森山 明子（石坂）73
川森 里菜（霞ヶ関）73

森山選手

川森選手

決勝進出4倶楽部のキャプテン

理想の地形に
ゆとりの27ホール
「まっすぐに、遠くへ」

千葉 第1会場予選

千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース

5579Y・P72

使用ティーの選択で技量に合った楽しみ方を

2019年5月28日（火）、千葉夷隅ゴルフクラブ（5579yPar72）に、20チームが参加して開催されました。

心配された天候ですが、午前中は雲の隙間から陽が差す天気でしたが、スタート時点から強風が吹きまくりました。さらにグリーンのスピードは11ﾌｨｰﾄに仕上げてありましたので、大半の選手はショットとパットの両方でスコアメイクに苦しんでいました。

午後からは時おり小雨も舞い散り、最終組がホールアウトする頃には本降りの雨模様になりました。

競技は上位8チームが混戦となり、逆転の末、カレドニアン・ゴルフクラブが予選1位通過を果たしました。また同ゴルフクラブの平田悦子選手が76というスコアで、ベストスコア賞を受賞いたしました。

●千葉夷隅ゴルフクラブ
岡本 豊総支配人・談

当倶楽部では「コースが長すぎてゴルフが面白くない」という女性会員や、高齢男性会員の声が近年多くなってきましたことにお応えし、昨年7月に最短のコースで18ホール・4594ﾔｰﾄﾞのグリーンティーを新設いたしました。

前回（2012年）の本競技では5914ﾔｰﾄﾞと距離もありましたが、今回は新設したティーイングエリアを7ホール使用いただき、前回より約335ﾔｰﾄﾞも距離が短縮され、各方面よりおおむね好評のお声を頂戴いたしました。

これからはゴルフを生涯スポーツとして楽しんでいただくには、プレーヤーがティーを選んでプレーする時代になると考えます。

女性や高齢者の方々がゴルフを楽しみ、業界が活性化することを願っております。

決勝 進出倶楽部

1位　カレドニアン・ゴルフクラブ／329ストローク

2位　千葉夷隅ゴルフクラブ／330ストローク

3位　八幡カントリークラブ／337ストローク

千葉夷隅GCの応援団

GK REPORT

千葉夷隅GC
吉野浩光グリーンキーパー・談

今回、新設しましたティーを一部使用されることもあり、環境整備にも細心の注意を図りました。5月に入り、平年の半分の降水量であったために乾燥気味で苦労しましたが、皆様に良質のコースコンディションを提供できたかと思います。

千葉第1会場予選競技

2019年5月28日（火）● 参加倶楽部数：20 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：6名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
平田 悦子（カレドニアン）76

平田選手

早川大会会長

千葉夷隅GCの岡本総支配人

千葉夷隅GCの徳田副競技委員長のご発声で乾杯。

キャディーも熱い戦いをサポート。

千葉カントリークラブ梅郷コース

千葉 第2会場予選

5765Y・P72

強豪揃いの激戦地区ならではの温かい交歓風景も

令和元年6月3日（月）、当倶楽部において関東女子倶楽部対抗千葉第2会場予選競技が、19倶楽部・114名の選手参加のもと行われました。

当日、朝方は小雨に見舞われたもののプレー開始までにはあがり、良好なコンディションのもと各選手スタートができました。

スタートと同時に各倶楽部の応援者やギャラリーも多数集まり、ティーショットの後には応援の声も多数聞かれ、選手も元気よくラウンドに向かっていきました。また、18番グリーンのマウンドには多数の応援者やギャラリーが駆けつけ、選手たちの熱いプレーを見守りました。

応援者テント村も緊張感の中にも和気あいあいとした雰囲気があり、各倶楽部のスタッフの皆様も楽しく競技に参加できたと思います。

結果、総武カントリークラブが2位の富里ゴルフ倶楽部に7打差をつけて優勝を勝ち取りました。また、3位の成田東カントリークラブまでが決勝に駒を進めました。ベストスコア賞も総武CCの藤原聡子選手が、72ストロークのパープレーでもぎ取りました。

表彰式は関東ゴルフ連盟・相馬仁胤理事の挨拶の後、和やかな雰囲気で始まりました。優勝チームはもちろん、2位・3位の決勝進出チームならびにベストスコア賞の授与時は、どの選手からも笑顔と拍手が溢れ、参加全倶楽部で健闘を称えあいました。

最後になりますが、競技運営にあたり関東ゴルフ連盟役員ならびに原田担当競技委員長をはじめ、競技委員の皆様、そしてご参加いただきました各倶楽部の皆様や関係者皆様のご支援、ご協力をいただきまして、無事に競技を開催できました事を、心より感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。

（千葉カントリークラブ梅郷コース支配人・石山尚志）

競技観戦も意図したコース改造で18番は自然の観覧席

開催倶楽部、千葉CCの代表選手と関係者

決勝進出倶楽部

1位　総武カントリークラブ／304ストローク

2位　富里ゴルフ倶楽部／311ストローク

3位　成田東カントリークラブ／320ストローク

千葉第2会場予選競技

2019年6月3日（月）● 参加倶楽部数：19 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：6名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
藤原 聡子（総武）72

藤原選手

相馬大会会長

東京 会場予選

立川国際カントリー倶楽部 草花コース

5767Y・P72

連日のコース整備で早さ10フィートを提供

立川国際カントリー倶楽部は東京都の西郊に位置し、都内唯一の36ホールを有する倶楽部です。昭和34年に開場、そして今年で開場60周年を迎えました。

その記念すべき年に「草花コース」におきまして関東女子倶楽部対抗東京会場予選競技が開催されましたことに、大変喜びを感じております。

平成27年には東京・神奈川・埼玉の代表22倶楽部を招いて関東倶楽部対抗プロック大会が開催されており、その経験を活かして本競技に向けスタッフ一同「おもてなしの精神」で準備を進めてまいりました。

前回と大きく変わったのは、カート庫にあったギャラリープラザを、クラブハウス内2階に設置したことです。各倶楽部の応援スペースの確保や、クーラーボックスの残り水など問題点もありましたが、ギャラリーの皆様にはエアコンの効いた快適なスペースで、お過ごしいただきたいとの思いで試みました。

競技当日の天候は晴れ、気温25度、湿気もなくカラッとした天候の中、スティンプメーター計測10フィートという、選手の皆様に十分にパフォーマンスを発揮していただけるコンディションを、連日の懸命なコース整備により実現できました。

特にギャラリーの皆様が安全に応援していただけるよう、スタッフの配置や観戦エリアの整備にも配慮し、事故防止にも努めてまいりました。

いよいよ午前8時、競技委員のコールにより選手たちが緊張の面持ちでティーショットを放っていきました。各チームのユニフォームの華やかさと気品あふれるプレーぶりには、女子競技ならではの光景が見られました。

午前中はおだやかだった風も午後になると徐々に吹き始め、同時にグリーンは乾き、コンパクション・スピードともに増していき、選手たちを悩ませていました。それでも最終ホールのグリーン周りでは大勢のギャラリーが選手たちを出迎え、大きな拍手と労いの言葉をかけている姿が印象的でした。

結果は優勝が青梅ゴルフ倶楽部、準優勝は東京五日市カントリー倶楽部。以上2チームが決勝のメイプルポイントゴルフクラブへ進出されました。

我がチームは4位と決勝へは2ストローク足りませんでしたが、昨年の11位から大健闘でした。

本競技開催にあたり、黒野担当競技委員長をはじめ関東ゴルフ連盟競技委員の皆様には多大なご指導、ご協力を賜り、御礼申し上げます。また、各倶楽部の選手、応援の皆様のご協力のお蔭で、大会が無事に終了できましたことを感謝いたします。（立川国際カントリー倶楽部支配人・榎本 正）

開催倶楽部、立川国際CCの代表選手と関係者

TEAM TACHIKAWA KOKUSAI　左から、木本選手、中山選手、石成選手、上原選手、宮澤選手

GK REPORT

立川国際CC
細谷光男グリーンキーパー

今年は冬から春にかけて乾燥が続き、芝の萌芽状況が思わしくありませんでした。それに加え5月としては異例の30度越えの夏日が競技の2日前まで4日間も続き、グリーンコンディションを維持するのに大変苦労しました。選手の皆様がまた、当倶楽部でプレーをしたいと思っていただけるよう、日々ベストなコース整備を心がけてまいります。

選手、スタッフ総出のお見送り。

決勝 進出倶楽部

1位　青梅ゴルフ倶楽部／339ストローク

2位　東京五日市カントリー倶楽部／348ストローク

東京会場予選競技

2019年5月30日（木）● 参加倶楽部数：12 ● 通過倶楽部数：2 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

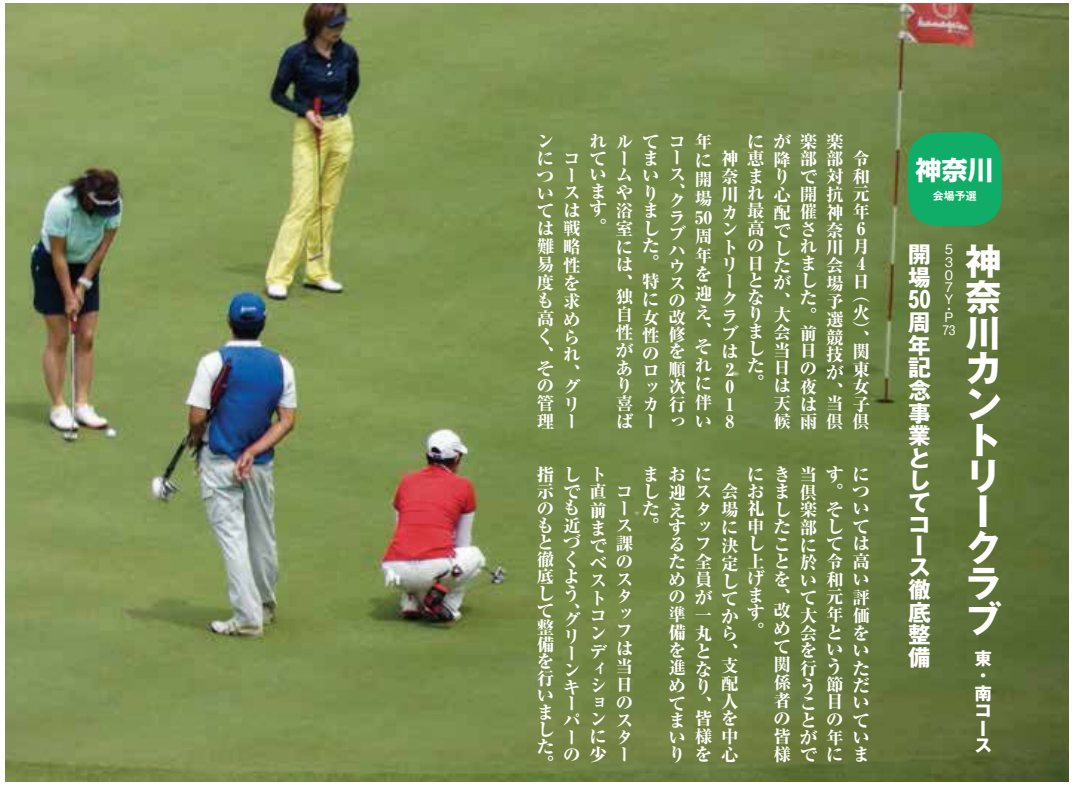
BS **ベストスコア賞**
金井 佳代（青梅）77

金井選手

佐藤大会会長

立川国際CCの
鈴木理事

立川国際CCの
榎本支配人



神奈川
会場予選

神奈川カントリークラブ 東・南コース

5307Y・P73

開場50周年記念事業としてコース徹底整備

令和元年6月4日（火）、関東女子倶楽部対抗神奈川会場予選競技が、当倶楽部で開催されました。前日の夜は雨が降り心配でしたが、大会当日は天候に恵まれ最高の日となりました。

神奈川カントリークラブは2018年に開場50周年を迎え、それに伴いコース、クラブハウスの改修を順次行ってまいりました。特に女性のロッカールームや浴室には、独自性があり喜ばれています。

コースは戦略性を求められ、グリーンについては難易度も高く、その管理については高い評価をいただいています。そして令和元年という節目の年に当倶楽部に於いて大会を行うことができましたことを、改めて関係者の皆様にお礼申し上げます。

会場に決定してから、支配人を中心にスタッフ全員が一丸となり、皆様をお迎えするための準備を進めてまいりました。

コース課のスタッフは当日のスタート直前までベストコンディションに少しでも近づくよう、グリーンキーパーの指示のもと徹底して整備を行いました。

午前6時頃より各倶楽部の皆様が来場し始めました。当倶楽部の女子研修会もフロント内に並んでお出迎え。朝の静かで爽やかな雰囲気のなかに、少しずつ活気と緊張感が漂い始めました。

各倶楽部のテントは西コース8番のフェアウェイに設置。駐車場から荷物を運ばれる際には途中足元が悪く、皆様にはご不便をお掛けいたしました。

選手の皆様も各自スタート時間に合わせて調整を行い、スタートの順番を待つばかり。午前8時にはスタートホールに各倶楽部の応援団が大勢集まり、大声援の中でスタートとなりました。太陽もだいぶ高くなり、ハーフを上がる頃は気温も上がりそうでしたが、実際は心地良い風も吹き、テントの日陰と応援の皆様が選手を癒していました。

お約束の「どっこいしょ」で座を和ませて記念撮影。

午後1時過ぎにトップ組がホールアウト。2階テラスに設置のスコアボードに視線が集まり始めました。

一喜一憂。

競技結果は、1位・湘南シーサイドカントリー倶楽部。2位・東名厚木カントリー倶楽部。3位・大秦野カントリークラブ。表彰式を終え、熱い一日が閉じました。

最後になりましたが、KGAの皆様、各倶楽部関係者の皆様、当倶楽部関係者の皆様のご協力をいただきまして、無事に終わることができましたこと、本当にありがとうございました。

（神奈川カントリークラブ広報担当・原田光隆）

開催倶楽部、神奈川CCの代表選手と関係者

決勝進出倶楽部

1位　湘南シーサイドカントリー倶楽部／310ストローク

2位　東名厚木カントリー倶楽部／313ストローク

3位　大秦野カントリークラブ／313ストローク

神奈川会場予選競技

2019年6月4日（火）● 参加倶楽部数：20 ● 通過倶楽部数：3 ● 競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
塩田 美樹子（葉山国際）70

塩田選手

伊藤大会会長

神奈川CCの浅野社長

神奈川CCの梶野支配人

TEAM KANAGAWA　左から、遠藤選手、高瀬選手、市村選手、杉本選手、田中選手

女性客に配慮した運営はパーティーでも同じ。

静岡 会場予選

東名カントリークラブ 裾野・桃園コース

5807Y・P72

決勝は参加8倶楽部から1倶楽部の狭き門

富士山の伏流水
駿河湾からの風
山と海の東名CC

静岡の参加チーム数を県単位でみると、最小となる8倶楽部ではありますが、準備は何チームであろうと変わりません。

前日の営業終了後から、男女施設を全面入れ替えし、ロッカールームや化粧室の窓には二重となる目隠しを設置するなど、万全を期しました。

作業を終えてクラブハウスをあとにする頃、ポツリポツリと顔に水滴が感じられ、天候が心配されました。その後、ひと晩中降り続いた雨も早朝にはあがり一安心。

当日、8時のスタート時の気象は薄曇り、気温18度、南南東の風2㍍。その後の最高気温も25度と、このところの夏日から一転、プレーには絶好の日となりました。

当日のグリーンコンディションは、ベントグリーン（007）3・6㍉、シングルカット、スティンプメーター11・0㌳、コンパクション21・0でした。

試合は序盤、東名カントリークラブがリードし、あわや男女アベック優勝か？　との期待を抱かせましたが、若手を中心にチームバランスのとれた富士宮ゴルフクラブが逆転し、そのまま逃げ切り優勝となりました。

表彰式は倶楽部ジャケットをまとった選手が一堂に会し、試合展開同様、チーム数は少なくとも熱気あふれる雰囲気となりました。選手には着席できるよう椅子席を用意。また当倶楽部のパーティールームが広いことを有効活用し、表彰式会場もゆったり設置しましたので、最後まで残った応援の方にも参加して盛り上げていただきました。

最後に、決勝に進出する富士宮ゴルフクラブにエールを送って、閉会となりました。

（東名カントリークラブ支配人・大池誠実）

全27ホール・ワングリーン化が完成。

「ALL FOR ONE」でお見送り。

❷東名CC ❸富士箱根CC ❹ギャツビイGC
❺富士CC ❻富士御殿場GC

決勝 進出倶楽部

1位　富士宮ゴルフクラブ／325ストローク

静岡会場予選競技

2019年6月3日（月）● 参加倶楽部数：8 ● 通過倶楽部数：1 ● 競技方法：6名出場、上位4名の合計スコア

BS **ベストスコア賞**
望月 優花（富士宮）74

望月選手

木村大会会長

Gallery

1日だけの開店 関東名店プラザは満席御礼です

関東倶楽部対抗

鶴舞CCは芝の上で車座になってのパーティー（写真左）。京葉CCは木陰でランチ。19番ホールの楽しみです。

決勝競技出場の常連チームには伝統の味があります。漬物、果物、いなり寿司、そうめん……仲間と分かち合う〝HOME（所属倶楽部）〟の味。

昭和から平成初期の時代は今と違って、火気使用OKのところもありました。テント村が美味しそうな香りに包まれて、まるでバーベキュー宴会場のようでした。

今は各倶楽部とも、ランチに缶ビール1本程度が多いようです。テントには実に爽やかな新緑の風が吹き抜けます。

京葉CC

家庭料理風の大皿メニューを豊富に用意した京葉CCのシェフ（帽子を被った方）。朝3時からの仕込みだったそうです。品数と量で〝グルメ大賞〟に決定です。（写真❶）

唐沢GC

唐沢GCチームはエースの亀井隆選手（右から3人目）が63歳ながらBクラスでプレーし、73の好スコア。7番パー5（499ヤード）では見事、イーグルをマークしました。（写真❷）

茨城GC

多くの応援団の期待を背負って、茨城GCの澤田信弘選手（前列右から3人目）はAクラス第1組で1番ティーをスタート。テントに戻り早めのランチを楽しみました。「今日は全然当たらない。後半、選手交代していい？（笑）」と応援のメンバーを隣に呼び談笑がつきません。（写真❸）

東千葉CC

関東最強の東千葉CCは、今年も余裕を感じます。大藏監督（右から3人目）も山梨の競技だけに〝風林火山〟の采配でしょう。動かざること山の如し。（写真❹）

伊東CC、開場以来の悲願達成に感涙

開場して41年目で伊東CCは、倶楽部対抗予選敗退の歴史を40年刻みました。今回が決勝競技初出場で、地元新聞でも大きく報じられました。「うれしくて足が芝から浮いているんですよ」と笑いながらも、眼は潤んでいるようです。研修会員の約30名は全員が地元・伊東です。「真ん中より上位へ行ければ」の希望が、結果は堂々の17位でした。

関東女子倶楽部対抗

メイプルポイントGCのオススメは“上野原のチズちゃんの浅漬け”だそうです。それが商品名なのか、チズちゃんのお店があるのか、取材不足でした。

これぞ「お・も・て・な・し」

本競技開催に際してはメイプルポイントGCから多くの支援をいただきました。ハーフのスコアチェックは、同GCのメンバーがボランティアで担当。（写真上）1番ティーと10番ティーで、選手のために用意されているフリードリンク。メイプルポイントGCの関係者が選手ひとりひとりにタオルで拭いたボトルを手渡していました。（写真下）

売店で必ず10分間休憩

6番ティーと14番ティーの手前にある売店では、冷えた水・梅干しのほかに冷凍させたおしぼりを選手に提供。選手たちはここでほっとひと息、10分間の休憩を取っています。

売店に「あちーっ！」と声を挙げながら入ってきた選手たち。休憩しながら交わされる会話は暑さについてだけ。プレーヤーに とっては、それほど厳しい気象条件のようです。（写真❺）

成田東CC

強豪・成田東CCも予選突破は至難の技とか。昨年は落選。今年は3位通過。それでも結果の5位入賞は立派な成績です。

ランチを拝見するとこれはオシャレ、自家製のクロワッサンです。朝4時から焼いたそうで、コースでも販売しています。縁起を担いで〝勝ちパン〟とでも命名しておきましょう。（写真❻）

日高CC

暑い日はこれ！ 思い浮かぶのは冷や奴。サッとすくって、醤油と薬味をかけるだけ。これが日高CCでは大人気でした。

考えてみますと夏の居酒屋では「とりあえずビール」と冷や奴が定番でしょう。「奴豆腐」の語源は江戸時代の「奴さんの半纏」の模様が四角で、豆腐を連想させるところからだそうです。（写真❼）

青梅GC

「自宅の冷蔵庫を整理して、スイカを丸ごと冷やすのが大変でした」と、青梅GCの応援の方。

佐藤副理事長（上段・左）も、エースの金井佳代選手（中央）とパクリ。スイカには疲労回復と利尿作用があります。夏バテ防止にいいですね。（写真❽）

from

Kanto Golf Association

2019年8月19日（月）～21日（水）の3日間、長野カントリークラブにて夏季強化合宿を開催しました

「TEAM KGA ジュニア」認定選手の男子小学生4名と中学生8名、女子小学生2名と中学生7名と、「TEAM KGA ジュニア」登録選手の中で選抜された女子小学生2名と中学生1名の計24名が参加しました。技術指導では、JGAナショナルチームのプログラムやIMGゴルフアカデミーで学んだメソッドを取り入れ、また、技術のみならずエチケット、マナー、ルール、食育などの指導を行い、チームの底上げを図りました。

合宿2日目の夜の講習では、オリンピック金メダリストの荻原健司氏を講師として招き、『世界で活躍するアスリートになるために』をテーマに、アスリートとしての心構えや、実際にオリンピックでのメダル獲得に向けて取り組んでこられたことなどをお話しいただきました。

荻原健司さんの講演に「TEAM KGA ジュニア」の皆さんは大感激でした。

講師の荻原健司さんは冬季オリンピックの金メダリスト。

長野CCでの実技からホテルでの座学まで、密度の濃い合宿でした。

KGA GOLFER'S NEWS NO.131

2019年9月30日発行
KGA GOLFER'S NEWS No.131
発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008
ホームページ http://www.kga.gr.jp
発行人／池谷正成 編集／広報委員会

編集後記

「スマイル！」 令和の時代のKGAゴルファーズニュースのテーマは、人に焦点を当てた誌面づくりと「スマイル！」。前号の表紙は関東女子アマでプレーオフを争った二人の素敵な笑顔。本号でも、倶楽部対抗を戦う選手たちの笑顔が溢れる誌面となった。本誌の誌面が明るくなったと感じるのは私だけであろうか？ 全英女子オープンで、日本人で二人目に優勝した渋野日向子選手が「スマイル・シンデレラ」と呼ばれ、世界で大人気となり「スマイル」という言葉が注目を集めるようになったことは偶然。世界のメジャー競技の勝利を目指しながら、実に楽しそうな「スマイル」でゴルフをプレーする姿が、世界で大人気となったことは必然。「楽しくゴルフをしたい」が全ゴルファーの願い。やっぱり、ゴルフは楽しい！ （広報委員長・吉田裕明）

2019年「KGA杯ジュニアゴルフ大会」を開催 関東アマチュアゴルフ選手権と関東女子ゴルフ選手権の予選競技出場資格を獲得しました

2019年8月16日（金）「KGA杯ジュニアゴルフ大会」が、男子はカレドニアン・ゴルフクラブ（千葉県）で開催され、女子は8月15日（木）富里ゴルフ倶楽部（千葉県）で開催されました。

男子15歳～17歳はエントリー80名、出場78名。12歳～14歳の部はエントリー64名、出場64名。男子15歳～17歳の部上位5名、12歳～14歳の部の上位3名は、2020年関東アマチュアゴルフ選手権予選競技出場資格選手となります。

女子15歳～17歳はエントリー42名、出場41名。12歳～14歳の部はエントリー66名、出場66名。女子15歳～17歳の部上位5名、12歳～14歳の部の上位3名は、2020年関東女子ゴルフ選手権予選競技出場資格選手となります。

競技成績

男子　カレドニアン・ゴルフクラブ
（6687ヤード・パー72）

15歳～17歳の部
エントリー80名 出場78名

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	宮原 光	埼玉栄高3	70
2	熊谷 宇晴	埼玉栄高3	71
3	能登 祥太	埼玉栄高2	73
4	中川 拓海	千葉黎明高3	74
5	塚原 悠斗	佐野日大高2	75

12歳～14歳の部
エントリー64名 出場64名

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	大岩 慶尚	千葉市立誉田中3	70
2	関 翔汰	墨田区立文花中1	74
3	三橋 颯太朗	森村学園中3	75

女子　富里ゴルフ倶楽部
（6208ヤード・パー72）

15歳～17歳の部
エントリー42名 出場41名

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	山村 真鈴	日大第二高2	71
2	吉澤 柚月	麗澤高1	72
3	石井 咲来	横須賀學院高2	73
4	中谷 舞	わせがく高2	74
5	森田 彩音	叡明高1	74

12歳～14歳の部
エントリー66名 出場66名

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	間中 りょう	埼玉栄中1	70
2	長谷川 愛美	太田市立藪塚本町中3	71
3	山本 優花	三鷹市立第一中3	73

「KGA杯ジュニアゴルフ大会」は、2015年（平成27年）に創設され、関東高等学校ゴルフ連盟と共催し、今年で第5回目を迎えました。対象選手は、関東ジュニアゴルフ選手権予選および決勝の出場者で、日本ジュニアゴルフ選手権の出場資格を保持していない者としており、中上級者に対しての普及育成を目的とした大会です。

15～17歳の部 1位 宮原選手　2位 熊谷選手　3位 能登選手

12～14歳の部 1位 大岩選手　2位 関選手　3位 三橋選手

15～17歳の部 3位 石井選手　1位 山村選手　2位吉澤選手

12～14歳の部 3位 山本選手　1位 間中選手　2位 長谷川選手

人はなぜゴルフをするのか？

先日、少し奇妙なテレビ番組がNHKで放映された。宇宙の人気番組『新銀河紀行～驚異の地球文明～』と題する教養番組で、「宇宙人目線で見てみると、地球カルチャーは不思議がいっぱい。素朴な疑問を入り口にすると、その真髄がわかる」のだと言う。

そこで取り上げられたテーマの一つが「球を穴に入れるゴルフなるものがなぜ地球で人気なのか?」であった。「人はなぜゴルフをするのか?」を、改めて考えさせられた。

番組では、その魅力を「ゴルフ」なるものに夢中になっている日本の地球人のおじさん（そう設定されている）にインタビューして尋ねている。

「人生と一緒。いわば修業ですね」、「ゴルフを18ホール一緒にプレーすると、それまでよく知らなかった仕事仲間の人となりがよくわかります。これはビジネスのコミュニケーションの手段として、大変優れたツールだと思います」などなど、皆、日本の地球人らしく大変生真面目に、しかし大変楽しそうに答えている。

プレーぶりを追った動画では、アプローチショットを失敗し、いい歳をして「ワー!」と声を発して悶絶しながらも、楽しそうな様子が映し出される。

「ふむふむ、そうそう!」と、ゴルフを嗜む者として素直に同意する。しかし、ゴルフを知らない宇宙人（そう設定されている）の若者には、その魅力は伝わらなかった様子で番組は終了した。真髄はわからなかったようだ。残念!

恥ずかしながら「人はなぜゴルフをするのか?」を、私は考えたことがなかった。番組に登場した日本の地球人のおじさんたちは、皆楽しそうであった。身も蓋もない言い方をすれば「楽しむ」ために、ゴルフをするのだということは間違いないのだろう。

では、なぜゴルフは楽しいのか?

我が身を振り返ると、かつてゴルフをしていて「ゴルフは楽しい」と、心の底から感じた瞬間があったことに気がついた。20年近く前のクラブ選手権の2回戦だったと思う。

エクストラホールの1ホール目、フェアウェイセンターからの2打目は無情にもグリーン奥に少し溢れた。その押しつぶされそうな緊張感の中で、ふと「自分はなんと幸せな瞬間を味わっているのか!」と感じたのだ。

真っ青に晴れた空、美しい自然、素晴らしい対戦相手。その中で恐ろしいほどの緊張感を楽しんでいる自分に気がついた時、なぜかそんな感情が湧いてきた。

対戦相手は、私よりも随分と格上のゴルファーである。結果はご想像にお任せするが、この経験は、私の中でゴルフを特別な存在にした。そして、その対戦相手もまた、私の中で特別な存在になった。

不思議なことは、私がゴルフをしていて楽しいと心底感じたこの特別な瞬間は、試合に勝った瞬間でも「あのバーディーパット」をホールに沈めた瞬間でもなかったことである。そこで思い浮かぶのが、17世紀の思想家パスカルの「ウサギ狩りにゆく人は、ウサギが欲しいのではない」という言葉。

「当時、ウサギ狩りというのは、重装備が必要だったし、お目当ての獲物にすぐに出会えるとも限らない、なかなか大変なものだったらしい。そんな狩りに興じる人に〝ウサギ狩りに行くなら、これをやるよ〟と言ってウサギを手渡したら、その人は嫌な顔をするに違いない。〝愚かなる人間は、自分が追い求めるものの中に本当に幸福がある、と思い込んでいる〟と、パスカルは言うのだ。」（以上、国分功一郎著『暇と退屈の倫理学』より、一部筆者改編）と言う。

パスカル先生に言わせると、愚かなる私はゴルフの結果に楽しさや幸福感があるものと思い込んでいる。ゴルフをするプロセスの中に、偶然見つけた私の経験は、一概に不思議とも言い切れないのかもしれない。

実際に、先に紹介したテレビ番組に登場した、日本の地球人のおじさんたちのような多くの賢明なゴルファーが、ゴルフをするプロセスの中に、様々な形でその楽しさを見出しているのだから。

もっとも「楽しむためには、楽しむための訓練が必要」（再び国分功一郎著『暇と退屈の倫理学』より）だそうだ。「楽しむための訓練?」、単にショットやパットの練習をすれば良いってものでもないらしい。「球を穴に入れるゴルフなるもの」について、哲学的に考えてみても楽しそうである。

（文責・吉田裕明KGA広報委員長）